

NACCS業務資料 海上編 【CY・船舶代理店】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
令和7年10月更新

● CY・船舶代理店における業務（輸出編）

● コンテナヤードにおける搬出入業務	3
● CY搬入確認登録	4
● CY搬入確認登録後の訂正	5
● CY搬入後のシール番号の訂正	6
● CY搬出確認登録（輸出コンテナ）	7
● 船積情報登録	8
● CLR処理区分と入力項目について	9
● 多数件処理について	10
● 積コンテナリスト提出方法①（提出）	11
● 積コンテナリスト提出方法②（登録⇒提出）	12
● 船積処理	14
● 積コンテナリスト提出と船積情報登録	15
● CLRの取消方法（CLD船積情報変更）	16
● CCL 船積確認登録	17
● 輸出コンテナの船積状況の確認	18

● CY・船舶代理店における業務（輸入編）

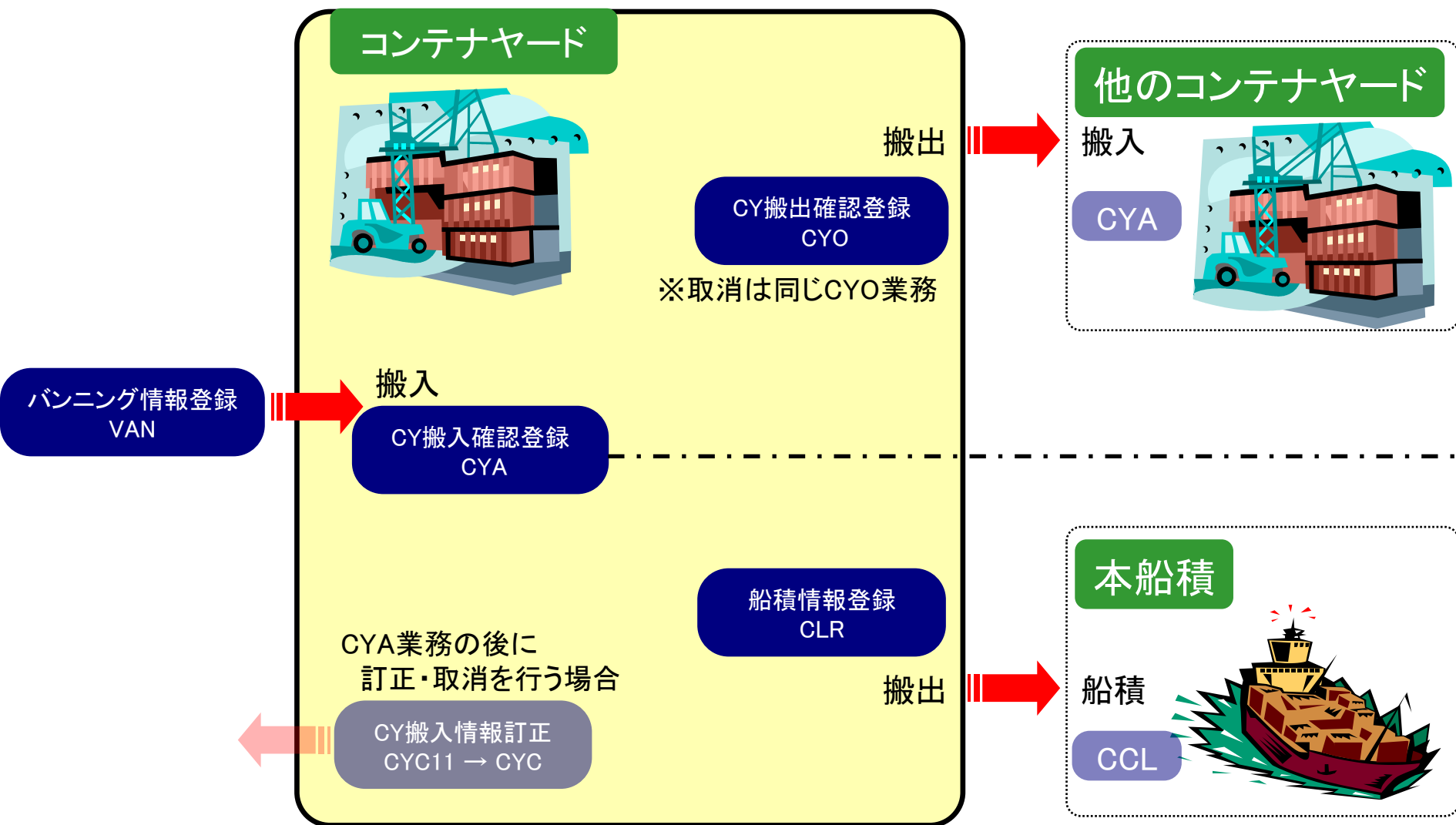
● 輸入コンテナ貨物の業務フロー	21
● 受委託登録について	22
● 積荷目録提出方法	24
● 出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録（MFR省略）	25
● 出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録（MFI）	26
● 出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録（MFR11）	27
● 出港前報告情報の照会	28

● 積荷目録情報登録	29
● 積荷目録情報訂正（積荷目録提出業務前）	30
● 積荷目録提出	31
● 出港前報告不一致通知と事前通知	32
● 積荷目録情報訂正（積荷目録提出業務後）	33
● IMI（積荷目録状況照会）	34
● 到着確認登録	37
● 船卸確認登録（個別）	38
● 船卸確認登録（一括）	39
● 船卸確認登録後の訂正	40
● 卸コンテナリスト情報登録	41
● 卸コンテナリスト提出	42
● 卸コンテナ情報変更	43
● 輸入貨物情報の訂正	44
● 輸入貨物情報訂正での留意点	45
● CY搬出確認登録（輸入）	46
● CYO不要設定	47

● コンテナの内航船フィーダー運送を登録する業務

● 内航船フィーダー運送の業務フロー	49
● CYL 内航船フィーダー運送積込登録	50
● CYU11 内航船フィーダー運送陸揚呼出し	51
● CYU 内航船フィーダー運送陸揚登録	52

CY・船舶代理店における業務 (輸出編)



CY搬入確認登録 CYA

1桁目:コンテナ長さ		
コード	コンテナ長さ[ft]	
1	10	
2	20	
4	40	
9	その他	
2桁目:コンテナ高さ		
コード	コンテナ高さ	
	[ft]	[in]
0	8	
2	8	6
4	9	
5	9	6
6	>9	6
8	4	3
9	≤4'	その他

コンテナ番号*	NACS1234500		
搬入日時*	2017/11/08 - 15:30		
ポートノート	4:空 5:実入り		
積載予定船舶	JNACS123	航海番号	W101
空/実入表示	5	コンテナ識別*	22
コンテナサイズ	42	コンテナタイプ	GP
事故税関通知			
事故コード	1	2	3
船会社			
ブッキング番号			
船卸港	1	2	
荷受地			積出港

22:輸出 23:輸入
28:仮陸揚げコンテナ

実際搬入されるコンテナと異なるコンテナ識別でCYAできる場合があります。誤って登録すると貨物とコンテナのリンクが外れて後続業務に支障をきたします。

BKR(ブッキング情報登録)で登録されたブッキング番号にコンテナを関連付ける場合に入力
後続のCLR等船積業務に影響はありません

CYAによるコンテナ情報の上書登録

バンニング登録の内容とCYAで登録した内容が異なる場合、CYAで登録した内容を優先して更新します

SAT024 コンテナ通知情報

作成日時	2017/11/08 - 10:11
搬出元保税地域	1AVVV - AAA
搬入先	1ADA0 - CY-D00
搬出日時	2017/11/08 -
積載予定船舶	9999
航海番号	101
船会社コード	9999
積出港	NACS1234500
コンテナ番号	NACS123457
コンテナ自重	2,020 - KGM
許可済表示	0
シール番号	1 AAA
	4
コンテナサイズ	20
コンテナタイプ	GP
ブッキング番号	
(コンテナ単位)	AAAA
バンニング総個数	10 - CT 総重量 10,000 - KGM

バンニング登録が完了すると搬入先CYにコンテナ通知情報(VAN登録内容)が出力されます

コード	内容	処置
COMPLETE		
W0001	入力されたコンテナタイプコード、コンテナサイズコード及び積載予定船舶コード、航海番号が当該コンテナ番号に対するコンテナ情報DBに登録されている内容と異なっていたため、入力内容で更新した。	入力されたコンテナタイプコード、コンテナサイズコード、積載予定船舶コード及び航海番号を再確認する。

CYAで入力した船舶、航海番号、コンテナサイズ、タイプとコンテナ通知情報の内容が異なると注意喚起「W0001」を出力します。
その場合、CYAで入力した内容を優先して更新します。

0:未許可 1:許可済

通常



先行CYA



・先行CYAについて
運用上ではバンニング後にCY搬入しますが、システムではバンニング登録前にCYAでCY搬入することができます。その場合、ICG(貨物情報照会)上にCYA業務が表示されません。バンニング登録はCLR(船積処理)までに登録が必要です。



CYA後の訂正

CY搬入情報訂正呼出し CYC11

処理区分※ (5 : 訂正 1 : 取消し)
コンテナ番号※

CY搬入情報訂正 CYC

訂正箇所を上書して送信

処理区分※ (5 : 訂正 1 : 取消し)

積載予定船舶 航海番号

マニュアル許可済

輸出申告やバンニングがマニュアルの際に
マニュアル許可済識別「1」を入力
実入コンテナのCLR(船積処理)がVAN登録
せずに可能になります

01 コンテナ番号 空/実入識別

シール番号 1 2
4 5

輸出コンテナの場合
入力不可

コンテナサイズ コンテナタイプ 条約適用識別

02 コンテナ番号 空/実入識別

シール番号 1 2 3
4 5 6

コンテナサイズ コンテナタイプ 条約適用識別

コンテナは30欄入力できます。
複数コンテナを一括して訂正できます

CYA後の取消

CY搬入情報訂正 CYC

処理区分※ (5 : 訂正 1 : 取消し)

積載予定船舶 航海番号

マニュアル許可済

処理区分(1:取消し)コンテナ番号
のみを入力して送信

01 コンテナ番号 空/実入識別

シール番号 1 2
4 5

コンテナサイズ コンテナタイプ 条約適用識別

02 コンテナ番号 空/実入識別

シール番号 1 2
4 5

コンテナサイズ コンテナタイプ 条約適用識別

取消の場合、2欄目以降の入力不可
コンテナ1本ずつの取消になります

バンニング登録され、CY搬入後に輸出申告された
コンテナはCYCで搬入取消できません。
また、輸入コンテナも搬入取消できません。



コンテナヤード



貨物状況登録 CCX

貨物管理番号

コンテナ番号

危険貨物 ☐

事故税関通知

事故 1 2 3 4 5

シール番号 1 2 3

4 5 6

シール番号訂正の場合、コンテナ番号のみ入力

貨物検査後のリシールしたシール番号を入力

搬入

CY搬入確認登録
CYA

コンテナヤードでの輸出申告で、検査になった場合のリシール登録はCCX業務で行います。
またコンテナヤード搬入(CYA)済みの場合は、バンニング登録者がシール番号を訂正出来ませんので、コンテナヤードがこの業務で訂正します。※シール番号の訂正はCYC11→CYC(CY搬入情報訂正)でも可能です。



搬出の場合

CY搬出確認登録 CYO

処理区分*	9	(9 : 搬出確認 1 : 搬出取消し)
搬出日時	2017/11/08 - __:__	
搬入先	1NAC1	
コンテナ番号*	NACS1245701	
搬出区分	☐ (E : 同一保税地域内運送 K : 検査による搬出)	

輸出コンテナの場合、入力不可

搬出取消の場合

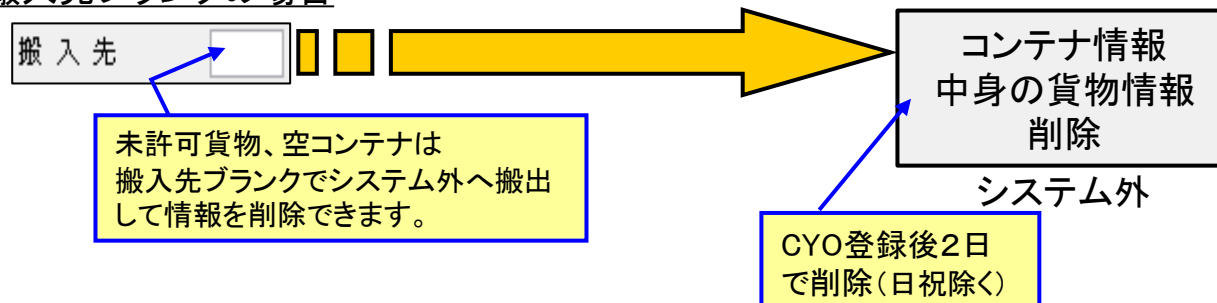
CY搬出確認登録 CYO

処理区分*	1	(9 : 搬出確認 1 : 搬出取消し)
搬出日時	__/__/__ - __:__	
搬入先		
コンテナ番号*	NACS1245701	
搬出区分	☐ (E : 同一保税地域内運送 K : 検査による搬出)	

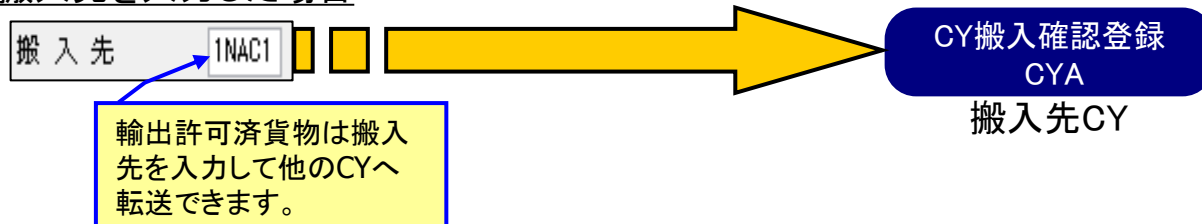
処理区分、コンテナ番号のみ入力
搬入先で搬入がされるまで可能

搬入先の入力について

搬入先blankの場合



搬入先を入力した場合



システム外搬出は、コンテナ搬入後に輸出を取止めた場合に利用します。処理を忘れると貨物が滞留し長期蔵置貨物になります。実入りコンテナについては、輸出取止再輸入後、再申告する場合がありますので、処理について通関業者に確認してください。



【CLR登録業者毎の船積時の蔵置チェック】

	CY	船会社	船舶代理店	通関業者
実入コンテナ	CLR登録者の蔵置場に蔵置(CYA)されていること	入力した船舶コードへの搬出(VAN)がされていること		
空コンテナ	CLR登録者の蔵置場に蔵置(CYA)されていること ※CYAせずにCLRすることもできます※2	入力した保税地域コードに蔵置(CYA)されていること ※CYAせずにCLRすることもできます※2		
在来貨物	CLR登録者の蔵置場に蔵置(BIC,BID)されていること	入力した船舶コードへの搬出(BOC)がされていること または システム参加保税地域以外に蔵置されていること※1		

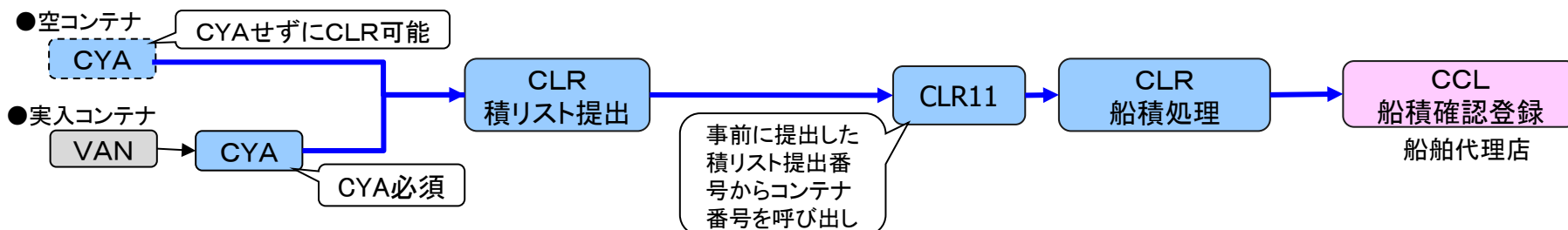


船舶代理店がCLR業務をする場合、入力した船舶の運航者との受委託登録が必要です。
空コンテナは搬入登録せずに船積処理が可能です。船積がキャンセルになりCLDした場合コンテナ情報が船積CYに搬入積み状態になるので、コンテナの搬出や搬入取消の処理が必要です。

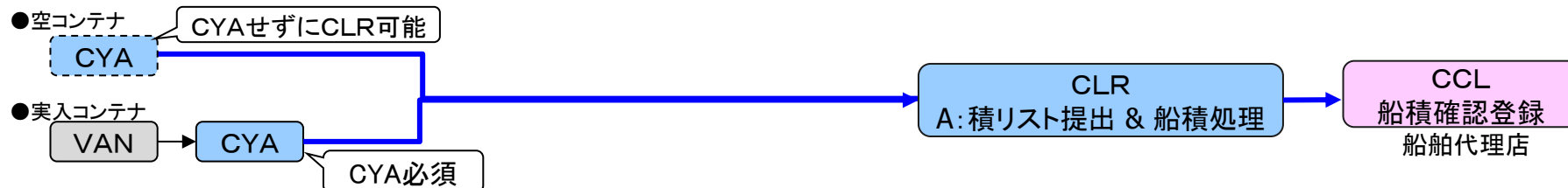
※1通関業者の場合、貨物情報登録者または申告者
※2積コンテナリストを提出する空コンテナに限る

【船積の業務フロー】

1. 積リスト提出と船積を別々に登録する場合



2. 積リスト提出と船積を一括して登録する場合



CLR処理区分と入力項目について

区分		業務内容				入力項目												備考
		積コンテナリスト		船積		共通部						繰返部						
積コンテナ 船積区分	処理区分	登録	提出	登録	終了	提出番号	船積年月日	積載予定船舶、 積出港、航海番号	保税地域	バース	コンテナ管理 者、住所	執務時間 外要請	コンテナ、 管理番号	在来貨物、 登録不要	空/実入、サイズ、 タイプ、マル関表示	コンテナ管理者		
A	blank					×			×									
	E					×			×									
B	9					×	×					×		×			新規登録	
	2						×	×	×	×	×	×		×		×	追加登録	
	3						×	×	×	×	×	×		×	×	×	削除	
	E					×	×							×			登録兼提出	
	E						×	×	×	×	×		×	×	×	×	提出のみ	
	E																	
C	blank					×			×		×	×			×	×	新規登録	
	E					×			×		×	×			×	×	登録終了	
	E					×			×	×	×	×	×	×	×	×	終了のみ	

入力可能(入力項目ガイド参照)

×

入力不可項目

船積情報登録 CLR

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分※ C (A:積コンテナリスト提出・船積処理 B:積コンテナリスト提出処理 C:船積処理)

処理区分 E (9:新規登録 2:追加 3:削除 E:提出/終了)

提出番号

船積年月日 2017/11/13

積載予定船舶 JNACS123 -

積出港 JPTYO

航海番号 W111

保税地域

バース

コンテナ管理者 SADA - -

住所

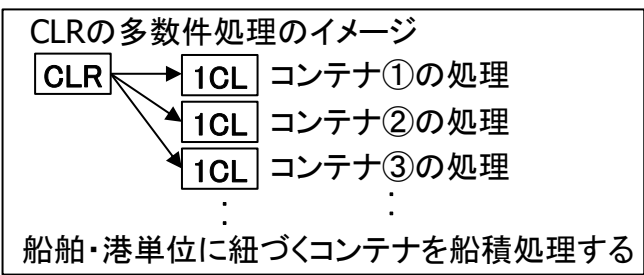
時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

共通部		繰返部						
		コンテナ番号または貨物管理番号	在来	登録不要	空/実入	サイズ	タイプ	マル関
1	NACS1234502				5	45	GP	
2	NACS1234503				5	45	GP	
3	NACS1234504				5	45	GP	
4	NACS1234505				5	45	GP	
5	NACS1234506				5	45	GP	
6	NACS1234507				5	45	GP	
7	NACS1234508				5	45	GP	
8	NACS1234509				5	45	GP	
9	NACS1234510				5	45	GP	
10	NACS1234511				5	45	GP	
11	NACS1234512				5	45	GP	

多数件処理について

CLR等、1回の業務送信で複数のコンテナや貨物に対して行われる処理を多数件処理といいます。
多数件処理を行う業務を送信すると、下記の注意喚起が表示されます。

業務メッセージ		
コード	内容	処置
COMPLET		
W1000	処理結果通知出力後も当該コンテナ番号または貨物管理番号に対して、システム内部で処理中である。	しばらくすると、エラー通知情報が出力されるので、注意すること。



多数件処理で処理完了後に通知を出力する業務

名称	業務コード	内部業務コード
船積情報登録	CLR	1CL
船積情報変更	CLD	1CD
船卸確認登録	PKK	1PK01
船卸確認登	PKI	1PK02
卸コンテナ情報	DCL02	1DC

処理が完了するとエラー通知情報が出力され、処理の完了を確認できます。

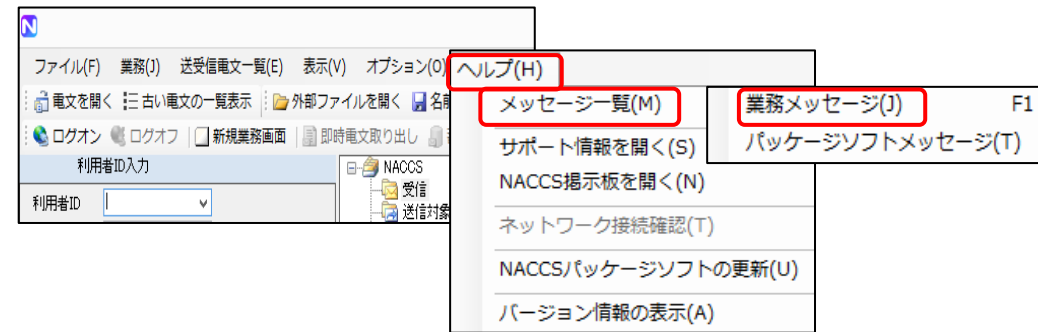
エラーの場合

エラー通知情報（船積情報）				
業務コード	CLR	内部業務コード 1CL	積コンテナ・船積区分 B	処理区分 E
積コンテナリスト提出番号				
積載予定船舶	JNACS791 - JNACMARU-S791			
積出港コード	JPTYO	航海番号 W101	先頭桁Wのは処理完了(注意喚起) 先頭桁E、L、Uはエラー エラー対象のコンテナ	
処理結果コード	1 E0017-0000-0000			
コンテナ番号または貨物管理番号	NACCS123560			
在来貨物				

正常終了の場合

エラー通知情報（船積情報）										
業務コード	CLR	内部業務コード	1CL	積コンテナ・船積区分	B	処理区分	E			
積コンテナリスト提出番号										
積載予定船舶	JNACS791 - JNACMARU-S791									
積出港コード	JPTYO	航海番号	W101	全てのコンテナを処理してエラーがなかった場合NONを表示						
処理結果コード	1							コンテナ番号または貨物管理番号		在来貨物
			NON							

「ヘルプ」⇒「メッセージ一覧」⇒「業務メッセージ」をクリックし業務メッセージ集からエラー内容を確認できます。



業務メッセージ				
処理結果コード	項目	項目略称	内容	処置
E0017	なし	0000	当該コンテナ番号は、積コンテナリスト提出済である。	コンテナ番号を確認する。
E0018	なし	0000	当該コンテナ番号は、コンテナ条約適用外である。	コンテナ番号を確認する。

業務メッセージ集はパッケージソフト立ち上げ時にキーボードの「F1」を押すことにより展開もできます。

積コンテナリスト提出方法①(提出)

船積情報登録 CLR

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分 **B** (A:積コンテナリスト提出処理 B:積コンテナリスト提出処理 C:船積処理)

処理区分 **E** (A:提出 B:削除 C:提出/終了)

提出番号

船積年月日

積載予定船舶 JNACS791 -

積出港 JPTYO

航海番号 W101

保税地域

パス

コンテナ管理者 SAOA -

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

B:積リスト提出処理

E:提出

繰返部管理者コード入力無い場合に入力

開庁時間外に登録する場合入力

入力不可項目

CYAした場合、省略可
入力した場合CYA等で登録した内容と一致すること

共通部 繰返部

コンテナ番号または貨物管理番号	在来	登録不要	空/実入	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ管理者
1 NACS1234502			5	45	GP		
2 NACS1234503			5	45	GP		
3 NACS1234504			5	45	GP		
4 NACS1234505			5	45	GP		

4:空
5:実入

コンテナ毎にコンテナ管理者を設定する場合入力

送信後の出力帳票

エラーの場合

SAT045 エラー通知情報(積コンテナ登録情報)

エラー通知情報 (船積情報)

業務コード CLR 内部業務コード 1CL 積コンテナ・船積区分 B 処理区分 E

積コンテナリスト提出番号

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港コード JPTYO 航海番号 W101

処理結果コード 1 E0017-0000-0000

コンテナ番号または貨物管理番号 NACS123560

在来貨物

リスト提出できなかったコンテナ

正常終了の場合

SAT045 エラー通知情報(積コンテナ登録情報)

処理結果コード 1

コンテナ番号または貨物管理番号 NON

在来貨物

NON:一件もエラーがなく正常終了

SAT034 積コンテナ輸出許可通知情報

積コンテナ輸出許可通知書

あて先税関 TOKYO 提出年月日 2017/09/29 積コンテナリスト提出番号 15000262050

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港 JPTYO - TOKYO - TOKYO

航海番号 W101

提出者 1ACB4 - CY-B4 (TEST)

コンテナ管理者 SAOA - FUNAGASISHA-B4 (TEST)

住所 TOKYO TO MINATO KU

輸出許可年月日 2017/09/29

コンテナ本数 4

輸出許可されたコンテナ番号を出力

コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関
1 NACS123560	4	42	GP		2 NACS123561	4	42	GP	
3 NACS123562	4	42	GP		4 NACS123563	4	42	GP	

東京税関長

積コンテナリスト情報の登録と提出を一回の送信で行う方法です。
積コンテナリスト提出(処理区分:E)後は同一の提出番号にコンテナを追加できません。追加する場合は同一の入力方法で別の提出番号を払出して提出する必要があります。



積コンテナリスト提出方法②-1(登録⇒提出)

Step1 コンテナリストの情報を登録

入力不可項目

船積情報登録 CLR ●新規登録

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分※ **B** (A:積コンテナリスト提出・船積処理区分 2:追加 3:削除)

処理区分 **9** (9:新規登録)

提出番号

船積年月日

積載予定船舶 JNACS791

積出港 JPTYO

航海番号 W101

保税地域

バース

コンテナ管理者 SAOA

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

共通部	繰返部
コンテナ番号または貨物管理番号	在来 登録不要 空/実入 サイズ タイプ マル関 コンテナ管理者
1 NACS1234502	5 45 GP
2 NACS1234503	5 45 GP
3 NACS1234504	5 45 GP
4 NACS1234505	5 45 GP

エラー通知情報(積コンテナ登録情報)

業務コード CLR 内部業務コード JCL 積コンテナ・船積区分 B 処理区分 9

積コンテナリスト提出番号 15000262200

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港コード JPTYO 航海番号 W101

コンテナ管理者 SAOA - FUNAGASISHA-B4(TEST)

処理結果コード 1 コンテナ番号 NON

新規登録後、積コンテナ提出番号を払出します

Step2 コンテナリストの情報を追加削除

船積情報登録 CLR ●追加の場合

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分※ **B** (A:積コンテナリスト提出・船積処理区分 2:追加 3:削除)

処理区分 **2** (2:追加)

提出番号 15000262200

船積年月日

積載予定船舶

積出港

航海番号

保税地域

バース

コンテナ管理者 SAOA

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

エラー通知情報の提出番号を入力

追加するコンテナ情報を入力

共通部	繰返部
コンテナ番号または貨物管理番号	在来 登録不要 空/実入 サイズ タイプ
1 NACS1234502	5 45 GP
2 NACS1234503	5 45 GP

船積情報登録 CLR ●削除の場合

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分※ **B** (A:積コンテナリスト提出・船積処理区分 2:追加 3:削除)

処理区分 **3** (3:削除)

提出番号 15000262200

船積年月日

積載予定船舶

積出港

航海番号

保税地域

バース

コンテナ管理者

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

エラー通知情報の提出番号を入力

繰返部は削除するコンテナ番号のみを入力

共通部	繰返部
コンテナ番号または貨物管理番号	在来 登録不要 空/実入 サイズ タイプ マル関 コンテナ管理者
1 NACS1234502	

積コンテナリスト提出方法②-2(登録⇒提出)

入力不可項目

step3

税関へコンテナリストの提出

船積情報登録 CLR ●提出

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分※ **B** (A: 時間外執務要請識別
B: 併せ時間外執務要請識別)

処理区分 **E** (9: 時間外執務要請識別
E: 提出)

提出番号 **15000262200** (エラー通知情報の提出番号を入力)

船積年月日

積載予定船舶

積出港

航海番号

保稅地域

パース

コンテナ管理者

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A: 時間外執務要請識別
B: 併せ時間外執務要請識別)

繰返部の入力不可

SAT034 積コンテナ輸出許可通知情報

積コンテナ輸出許可通知書

1 / 1

あて先税関 TOKYO 提出年月日 2017/09/29 積コンテナリスト提出番号 15000262200

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港 JPTYO - TOKYO - TOKYO

航海番号 W101

提出者 1ACB4 - CY-B4(TEST)

コンテナ管理者 SAOA - FUNAGASISHA-B4(TEST)

住所 TOKYO TO MINATO KU

輸出許可年月日 2017/09/29

東京税関長

コンテナ本数 4

Step1.2で登録した
コンテナ情報を出力

コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関
1 NACS123560	4	42	GP		2 NACS123561	4	42	GP	
3 NACS123562	4	42	GP		4 NACS123563	4	42	GP	

船積処理

積コンテナリスト提出済のコンテナ番号を呼出して船積処理ができます。

船積情報登録呼出し CLR11

積コンテナリスト提出番号

1	15000262160
2	
3	
4	
5	

積コンテナ輸出許可通知書の提出番号を入力
積コンテナリストを分けて提出した場合、5件まで入力可能

船積情報登録 CLR

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分 (C:船積処理)

処理区分 (E:提出/終了)

提出番号

船積年月日 2017/09/29

積載予定船舶 JNACS791 -

積出港 JPTYO

航海番号 W101

保税地域

バース

コンテナ管理者

全てのコンテナを登録した場合 E:終了を入力

SAT034 積コンテナ輸出許可通知情報

積コンテナ輸出許可通知書 1 / 1

あて先税関 TOKYO 提出年月日 2017/09/29 積コンテナリスト提出番号 15000262160

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港 JPTYO - TOKYO - TOKYO

航海番号 W101

提出者 1ACB4 - CY-B4(TEST)

コンテナ管理者 SAOA - FUNAGASISHA-B4(TEST)

住所 TOKYO TO MINATO KU

輸出許可年月日 2017/09/29 東京税関長

コンテナ本数 3

コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関
1 CACS123561	4	42	GP		2 CACS123562	4	42	GP	
3 CACS123563	4	42	GP						

共通部 繰返部

4 / 1200

コンテナ番号または貨物管理番号	在来	登録不要	空/実入	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ管理者
1 NACCS1234501							
2 NACCS1234502							
3 NACCS1234503							

積コンテナリストに登録されているコンテナ番号を出力

CLR(積コンテナ情報提出)を行った日から7日を経過すると積コンテナ情報が削除されるためCLR11はできません。
その場合、CLR11は利用せずCLRでコンテナ情報を入力して船積処理します。



積コンテナリスト提出と船積情報登録

積コンテナ・船積区分「A」を利用することにより、積コンテナリストの提出と船積登録を同時に処理することができます。

船積情報登録 CLR

共通部 繰返部

積コンテナ・船積区分 **A** (A:積コンテナリスト提出・船積処理 B:積コンテナ処理区分 E:提出/終了)

提出番号

船積年月日 2017/09/29

積載予定船舶 JNACS791

積出港 JPTYO

航海番号 W101

保税地域

パス AA01C

コンテナ管理者 SAQA

住所

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

A:積コンテナリスト提出・船積処理

E:提出/終了

繰返部のコンテナ番号のコンテナ管理者を一括して指定する場合に入力
個別に指定する場合、繰返部に入力

リスト通関が不要なコンテナの場合に入力
T:仮陸揚コンテナとして積コンテナ情報登録が不要
X:輸出コンテナとして積コンテナ情報登録が不要

共通部 繰返部

1 / 1200

コンテナ番号または貨物管理番号	在来	登録不要	空/実入	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ管理者
1 NACS1234502		☒	5	45	GP		
2 NACS1234503			5	45	GP		
3 NACS1234504			5	45	GP		
4 NACS1234505			5	45	GP		

入力不可項目

船積未完了のコンテナがある場合

船積区分「A」または「C」で、終了区分「E」を送信後、船積されていないコンテナがある場合は船積未登録情報が出力されます

SAT038 船積未登録情報

船積未登録情報 1 / 1

積載予定船舶 JNACS787 - JNACMARU-S787

識別 コンテナ番号または貨物管理番号 識別 コンテナ番号または貨物管理番号

A NACC1231201 A NACC1231202

A NACC1231203

A:対象の船舶、航海番号でCY搬入確認済だが船積登録されていない
B:対象の船舶、航海番号で積コンテナリスト提出済だが船積登録されていない
C:在来貨物で船舶コードに向けて運送されているが船積登録されていない

SAT034 積コンテナ輸出許可通知情報

積コンテナ輸出許可通知書 1 / 1

あて先税関 TOKYO 提出年月日 2017/09/29 積コンテナリスト提出番号 15000262420

積載予定船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

積出港 JPTYO - TOKYO - TOKYO

航海番号 W101

提出者 1ACB4 - CY-B4(TEST)

コンテナ管理者 SAQA - FUNAGASISHA-B4(TEST)

住所 TOKYO TO MINATO KU

輸出許可年月日 2017/09/29 東京税関長

コンテナ本数 4

コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関	コンテナ番号	空	サイズ	タイプ	マル関
1 JACS123560	4	42	GP		2 JACS123561	4	42	GP	
3 JACS123562	4	42	GP		4 JACS123563	4	42	GP	

CLRの取消方法(CLD船積情報変更)

1:一括取消の場合
船舶単位、積コンテナリスト単位に一括して取消

船積情報変更 CLD

共通部 繰返部

処理区分※ 1 (3:取消し 1:一括取消し)

積コンテナリスト提出番号 12345000001

積載予定船舶 JNACS138

積出港 JPTYO

航海番号 W111

時間外執務要請識別 ☐ (A:時間外執務要請届出済 B:併せ時間外執務要請届)

船積と積コンテナリストを取消する場合、両方を入力

開庁時間外に積コンテナリストを取消する場合入力

積コンテナリストを取消する場合入力⇒赤い部分

船積を取消する場合入力⇒青い部分

3:取消の場合
繰返部に入力したコンテナを取消

共通部 繰返部

コンテナ番号または貨物管理番号 在来

1:一括取消の場合
繰返部の入力是不可能

共通部 繰返部

コンテナ番号または貨物管理番号 在来

1	NACC001	
2	NACC002	

3:取消の場合
取消対象のコンテナ番号、貨物管理番号を入力

業務メッセージ				
コード	内容	処置	項目ID	
COMPLETE				
W1000	処理結果通知出力後も当該コンテナ番号または貨物管理番号に対してシステム内部で処理中である。	しばらくすると、エラー通知情報が出力されるので、注意すること。	0000	

多数件処理
送信後はエラー通知情報を確認して処理状況を確認してください

※注意※

- CLD業務は、対象となる情報登録(CLR業務)を行った同一の利用者コードで実施します。
- CCL(船積確認登録)業務後は、CLD業務及びCLR業務が出来なくなりますので、CCL業務前にICI業務や出力帳票で状況の確認をお願いします。
- CLD業務登録後のコンテナは船積CYに蔵置中の状態になります。空コンテナについては今後輸出での再利用に支障がでますので、CYO、CYCでコンテナの削除処理するようお願いします。

コンテナヤード



搬出

船積情報登録
CLR

CCL前にCLR「E: 船積終了」登録が必要

本船積



船積

船積確認登録 CCL

積載船舶*	JNACS781	-	
積出港*	JPTYO		
航海番号*	W101		

NACCS上の業務終了
(貨物情報・コンテナ情報が削除)

【船積確認通知情報の出力条件】

- ①船会社または船舶代理店の利用者IDでCCLを実施する
- ②CCL業務で入力された積載船舶コードが「9999」以外である
- ③輸出申告において、要船積確認の登録がされている

CLR「E船積終了」の入力をしていない場合

共通部	船積部
積コンテナ・船積区分*	☒ C (A: 積コンテナ)
処理区分	☒ E (9: 新規登録)
提出番号	
船積年月日	2017/11/27
積載予定船舶	JNACS123
積出港	JPTYO
航海番号	W101
保税地域	
パス	
コンテナ管理者	
住所	
時間外執務要請識別	☐ (A: 時間外執務要 B: 併せ時間外執務)

積コンテナ・船積区分:C
処理区分:E
船積年月日、船舶、積出港、航海番号
のみを入力で**船積終了登録**

共通部	船積部
0001 コンテナ番号または貨物管理番号	
空/実入	サイズ
タイプ	マル関表示
0002 コンテナ番号または貨物管理番号	
空/実入	サイズ
タイプ	マル関表示

通関業者



船積確認
通知情報
(SAT0471)



CCL(船積確認登録)業務は船会社・船舶代理店業のほか、CYや通関業者・海貨業者でも実施可能ですが、本来船側で貨物が船積みされたことを確認するのは、船会社或いは船舶代理店業であることから、船積確認通知情報は原則に則った形での出力となっています(関税法施行令第15条)。船会社、船舶代理店以外でCCL業務を実施しようとした場合は、送信前にポップアップが表示されます。CCL(船積確認登録)の訂正・取消業務はありませんので、十分確認をした上で送信してください。



輸出コンテナの船積状況の確認

ICI業務で船積状況やコンテナの船積可否を一覧で確認できます。

A CY蔵置中または船積したコンテナの状況を確認したい

船積コンテナ情報照会 ICI

積載船舶*

JANACD581

積出港*

航海番号*

0001

船会社

照会種別*

A

(A:コンテナ情報の照会
B:船積可能コンテナ一覧情報の照会
C:船積管理情報の照会
D:積載船舶差異情報の照会)

B ・コンテナが船積可能か確認したい
・中身の貨物が許可されているか確認したい
・全てのコンテナが船積されたか確認したい
CY蔵置中でCLRで船積前のコンテナのみ照会できます

照会種別「A」

共通部

繰返部

	コンテナ番号	識別	シール番号1	2	3	4	5	6	ブッキング番号	空/実	サイズ	タイプ	リスト提出番号	船積可能	マル関	船積登録済
1	SSSUEX33001	22	SEAL						BOOKING NO	5	20	GP				0
2																
3																

M:CYCマニュアル輸出許可済
△:上記以外である

コンテナリスト提出済の場合
提出番号を出力

CLR:船積処理の有無
0:船積処理前
1:船積処理済

照会区分「B」

共通部

繰返部

	コンテナ番号	識別	シール番号1	2	3	4	5	6	ブッキング番号	空/実	サイズ	タイプ	リスト提出番号	船積可能	マル関	船積登録済
1	SSSUEX33001	22	SEAL						BOOKING NO	5	20	GP		P		0
2																
3																

全てのコンテナがCLR船積処理された後、照会すると以下のエラーが出力されます

P:全ての貨物が輸出許可済または仮陸揚貨物
M:CYCマニュアル輸出許可済
E:空コンテナである
ブランク:船積できる状態ではない
(例)VANされていない
貨物が輸出許可済みでない

コード	内容	処置
E0002	照会対象となる情報がシステムに登録されていない。	適切な積載予定船舶コード、積出港コード、および航海番号を入力する。

- C
- ・CCL(船積確認登録)できる状態か確認したい
 - ・CCLの完了を確認したい

船積コンテナ情報照会 ICI

積載船舶* JNACS791

積出港

航海番号* W011

船会社

照会種別* D (A:コンテナ情報の照会
B:船積可能コンテナ一覧情報の照会
C:船積管理情報の照会
D:積載船舶差異情報の照会)

照会区分「C」

積載船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791 積出港 JPTYO 航海番号 W101

船会社 照会種別 C

最新更新日時 業務コード 利用者コード

2015/10/22 - 14:27 CLR 1ACB4

運航船会社 パースコード 船積保税地域

SA0A AA01C 1CB04

船積年月日 船積情報登録年月日 船積情報登録者

2015/10/22 2015/10/22 1ACB4

船積登録(終了)済 船積登録出力済

Y Y

船積確認登録年月日 船積確認登録者

/ /

CCL登録した日付
CCL登録者を出力

Y:CLR(E:終了)登録済
CCL可能な状態

- D
- CYA(CY搬入確認登録)で登録した船舶と輸出申告の船舶が異なるコンテナを確認したい
 - CY蔵置中でCLR前のコンテナのみ照会できます

照会区分「D」

積載船舶 JNACS791 - JNACMARU-S791

船会社 照会種別 D

コンテナ番号 差異表示 差異貨物件数

01 NACC1234567 02 NACC5554444 Y 1

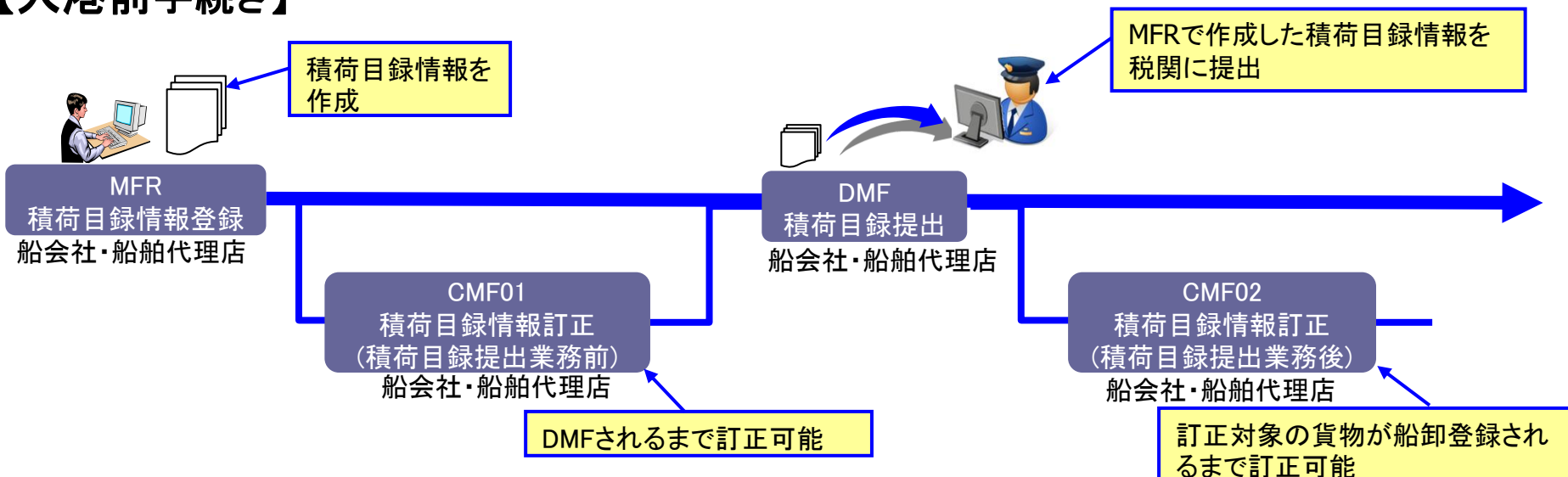
03 04

Y:CYAで登録した船舶コードと輸出申告で登録した船舶コードが異なる

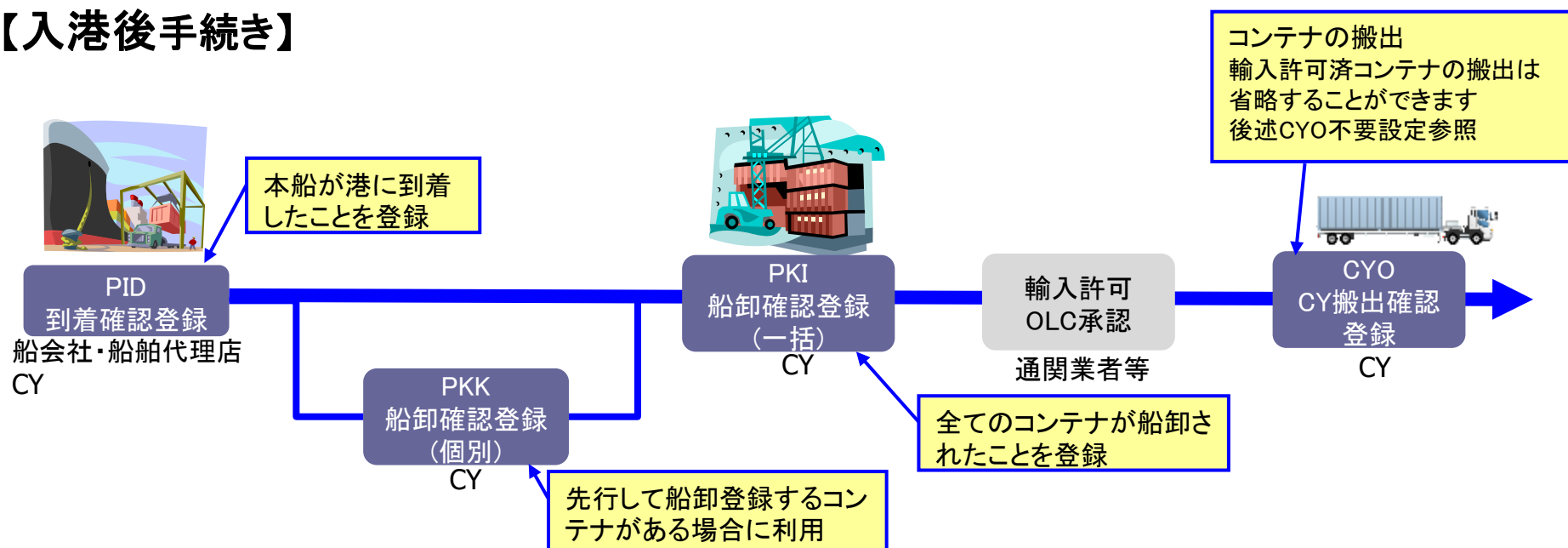
許可後の訂正で船名変更が必要なコンテナです。訂正せずに船積処理できますが、その場合、船積船舶・積出港差異情報が税関と通関業者に出力されます。

CY・船舶代理店における業務 (輸入編)

【入港前手続き】



【入港後手続き】



下記業務を船舶代理店が行う場合は、対象港において船会社との受委託登録が必要です

出港前報告関連

AMR	出港前報告
CMR	出港前報告訂正
CMR11	出港前報告訂正呼出し
AHR	出港前報告(ハウスB/L)
CHR	出港前報告訂正(ハウスB/L)
CHR11	出港前報告訂正(ハウスB/L)呼出し
DNC	船卸許可申請
DNC11	船卸許可申請呼出し
IAR	出港前報告照会
IML	出港前報告一覧照会

輸出関連

CLR	船積情報登録
CCL	船積確認登録
IAL	船積情報照会

輸入関連

MFI	積荷目録情報登録(一括)
MFR11	積荷目録情報登録呼出し
MFR	積荷目録情報登録
DMF	積荷目録提出
CMF01	積荷目録情報訂正(積荷目録提出業務前)
CMF02	積荷目録情報訂正(積荷目録提出業務後)
CMF03	積荷目録情報訂正(次港卸港の追加)
CMF11	積荷目録情報訂正呼出し(積荷目録提出業務前)
CMF12	積荷目録情報訂正呼出し(積荷目録提出業務後)
CMF13	積荷目録情報訂正呼出し(次港卸港の追加)
IMI	積荷目録状況照会
PID	到着確認登録
DOR	輸入貨物荷渡情報登録(ID登録)

積荷目録情報登録 MFR

共通部 繰返部

処理区分

船舶* JNACS123 運航船会社航海番号

航海番号 W101

入港予定日 2017/11/01

B/L番号

船会社* SAOA 船卸港* JPTYO

CY* 1ACB4

●受委託チェックの例

MFRを登録する船舶代理店が
船卸港JPTYOにおいて船会社SAOAとの
受委託関係がないと登録できない

◎受委託登録状況の確認方法

船舶管理情報照会 IVC

照会種別* P

船会社* SAOA

港 JPTYO

船舶コード

航海番号

P: 港毎前情報照会
船会社、港を入力して送信

照会種別 P

船会社 SAOA

港 JPTYO

港単位 船舶コード単位 航海番号単位

船舶代理店

01 1ADB4

02

船舶情報

0

船舶代理店に利用者コードの表示が
あれば対象の港で受委託登録済み

対象の港でMFR(積荷目録情報登録)等
する場合で、利用者コードの表示がない
場合は受委託登録が必要です。
受委託登録依頼方法は次ページ参照

NACCS掲示板より調査票をダウンロードし提出します


NACCS 掲示板

[NACCS 公式ホームページへ](#)

[TOP](#)
[NACCSのご利用方法](#)
[① 申込手続 \(NSS\)](#)
[NACCS業務仕様・関連資料](#)
[よくある問合せ](#)

[関連リンクを表示する▼](#)

NSS電子申請情報ページ

1 NSSについて

- NSSログインはこちら
- [変更申込](#)
- [新規申込](#)
- [入力例](#)

2 お知らせ

- 次期(第6次)NACCS稼働後、「利用者設定業務(U業務)」の開始及びU業務のご利用可能時間について(2017.10.5)
- 現行NSSの稼働停止・新NSSの稼働開始について(2017.9.26)
- NACCSアクセス回線「ブロードバンド(B.B)ADS-L」新規及び移設の一部受付停止について(2016.6.16)

3 NSSの利用方法 (利用申込)

- 1 利用申込の入力例
 - 1-1 [新規申込](#)
 - 1-2 [変更申込](#)
 - 1-3 [その他の申込 \(契約解除・共同利用など\)](#)
 - 1-4 [申込の修正・取下げ方法\(750kBytes\)](#)
 - 1-5 [契約内容の確認方法\(800kBytes\)](#)
- 2 利用申込の参考
 - 2-1 [利用申込から利用開始までのスケジュール表](#)

4 NSSの利用方法 (システム設定)

- ～システム設定申込みの利用開始に関する注意事項～
- 1 システム設定の申込みについて
 - 1-1 [システム設定の登録方法について](#)
 - 1-2 [会社・業種別の登録方法について](#)
- 1-3 **調査票が必要な申込みについて**
- 1-4 [通関士IDの追加の登録](#)
- 2 利用者設定業務 (Uxx業務) について
 - 2-1 [利用者設定業務\(Uxx業務\)実施にあたっての留意事項](#)

項番	調査票名	提出対象となる業種	概要
1	認定通関業者用申告 官署調査	通関業	認定通関業者の方が申告官署を設定する場合に提出する調査票です。 提出期限：2022年12月9日(金) 反映日：2023年1月4日(水) ※次回は2023年4月3日(月)反映となります。
2	③ 船会社受委託関係登録兼船会社コード付 与調査票	船会社 船代理店	(1) 船代理店の方がNACCSに参加していない船会社の代理店業務を行う場合、NACCSメインセンターに当該船会社との受委託関係を登録するための調査票です。 (2) 船会社コードまたはNACCS付与の船会社コードのどちらもお持ちでない船会社(「NACCSシステム不参加船会社」)の方がNACCS業務を希望される場合は、事前にNACCSメインセンターにNACCSが付与した船会社コード及び船会社名を登録する必要があります。

船会社受委託関係登録兼船会社コード付与調査票

輸出入・港湾関係情報処理センター株式会社
システム設定受付担当 宛

会社名 ナックス海運株式会社
事業所名 本社
担当者名 奈久須 大輔
電話番号 03-6732-XXXX

当社は、NACCSマリン株式会社と船代理店契約を締結し、各事業所において下記のとおり業務を受託しておりますので、システムへの船会社・代理店情報登録を依頼します。

区分選択 いずれか1つ選択してください

- ☒ 受委託登録のみ 記入欄 ①、②、③、④、⑤
- ☐ コード付与のみ 記入欄 ①、⑤
- ☐ コード付与・受委託登録 記入欄 ①、③、④、⑤
- ☐ 委託元船会社名変更 記入欄 ①、②、⑤
- ☐ NACCS用船会社コードの削除 記入欄 ①、②、⑤

① 委託元船会社名(アルファベット表記、70桁以内)

N A C C S _ M A R I N E _ C O . , _ L T
D

② NACCS用船会社コード

7 7 H S

③ 港名・港コード(国内)

川崎港

J P K W S

④ 利用者コード
(船代理店)

1 A N A C

⑤ 船会社確認欄

会社名 NACCSマリン株式会社
本社所在地 東京都港区浜松町1-3-1
業務責任者名 奈久須 花子
電話番号 03-6655-XXXX

株式会社
N
A
C
C
S
マ
リ
ン
株
式
有
限
公
司

船会社のアルファベット表記を記入してください。
「スペース」や「コンマ」「ピリオド」を明確に記入し
スペースは「_」(アンダーバー)をご記入ください。

※船会社の確認に時間を要する場合にあっては、確認印に代えて、委託元船会社からの業務依頼通知書等、受委託関係が確認できる書類を添付して下さい。

④ 調査票を入力してNSSの「書類添付」機能から申込
「書類添付」機能については、下記URLをご参照ください

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/files/00128681/4-1-1-002.pdf>

NACCS参加船会社の受委託登録について

NACCSセンターで受委託登録するのはNACCS不参加船会社のみです。
NACCS参加船社については、直接船会社にVCA(船舶管理情報登録)登録を依頼してください。参加船社かどうかは、NACCS掲示場の「業務コード集」⇒「船会社コード一覧」で確認ができます。

利用者コードがある場合→NACCS参加
利用者コードがない場合→NACCS不参加

1.船会社	船会社コード	船会社名(欧文)	所在地	利用者コード
NAC1	NACCS CENTER 1	東京都港区浜松町1丁目3番1号浜離宮ザタワー事務所棟5階		1ANAC
NAC2	NACCS CENTER 2	東京都港区浜松町1丁目3番1号浜離宮ザタワー事務所棟6階		

【1. 出港前報告情報を利用する場合（MFR省略）】

AMRで下記項目が入力されていることを条件に、MFR業務を省略してDMFできます。

①コンテナオペレーション会社 ②荷渡形態コード、③バンニング形態コード ④コンテナ条約適用識別



DMF前に空コンテナを登録する必要があります

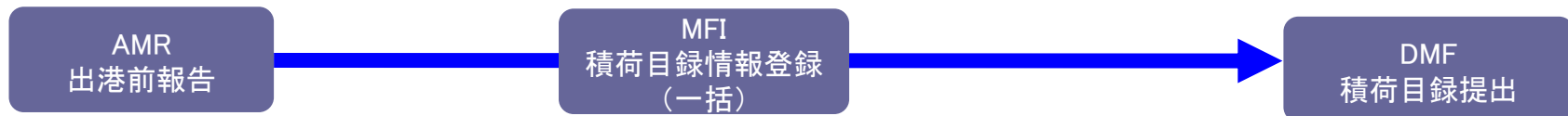
DMF後の出港前報告の修正、削除ができなくなります。AMR登録者と事前に調整の上、運用可否を確認してください
AMRとMFRの内容に相違がないことを事前に確認してDMFを実施してください

【2. 出港前報告情報を利用する場合（MFI一括登録）】

AMRで下記項目が入力されていることを条件に、MFI業務で出港前報告情報から一括して積荷目録情報登録できます。

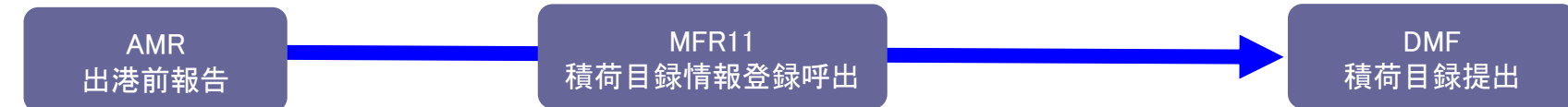
①荷渡形態コード、②バンニング形態コード ③コンテナ条約適用識別

積込港単位でMFIする場合はコンテナオペレーション会社の入力が必要です。



DMF前に空コンテナを登録する必要があります

【3. 出港前報告情報を利用する場合（MFR11呼出）】



【4. 出港前報告情報を利用しない場合】



出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録(MFR省略)

AMRで下記項目が入力されていることを条件に、MFR業務を省略してDMFできます。

出港前報告 AMR

①コンテナオペレーション会社 ②荷渡形態コード、③バンニング形態コード ④コンテナ条約適用識別

共通部 繰返部

船舶※ JNAH999 船舶国籍 運航船会社航海番号
航海番号※ 1234W 船会社※ DBJD 船積港※ KRPUS
B/L番号※ DBJD12345670003
出港日時※ 2017/10/19 15:00 グリニッジ標準時差分※ +0800 緩和措置対象地域
マスター識別 通知先 1 2 3
船卸港※ JPTYO 入港予定日※ 2017/10/19
仕出港※ KRPUS
荷渡地※ JPTYO
最終仕向地 JPTYO

共通部 繰返部

1 コンテナ番号 TEST0123457
シール番号 1 SSSS 2 3 4 5 6 7 8
空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 1 条約識別 1 対象外識

AMR任意項目でMFR必須項目

- ①CY(コンテナオペレーションコード)
- ②荷渡形態
- ③所有形態
- ④条約識別

AMR登録で上記4項目が入力されていない場合、
一括処理対象外になります。

※登録状況については後述IAR業務で確認します

積荷目録提出 DMF

船舶※ JNAH999
提出港※ JPTYO
船会社 DBJD
共同運航識別 (J:共同運航)
入港日※ 2017/10/19
書類提出先

SAS120 積荷目録情報登録結果一覧情報

業務コード DMF 内部処理業務コード 1MD

船舶 JNAH999 航海番号 船会社 DBJD 船積港 船卸港 JPTYO

処理結果コード	B/L番号	出港日時	グリニッジ	緩和措置
1 W0002-0000-0000	DBJD12345670001	-		
2 W0002-0000-0000	DBJD12345670002	-		
3 W0002-0000-0000	DBJD12345670003	-		
4 W0002-0000-0000	DBJD12345670004	-		

ATD(出港日時報告)で入力した
出港日時

処理結果コード、0000は正常終了
W0002:出港日時報告がされていない注意喚起

一括処理で
MFR登録が完了したBL番号

入力した船舶、積出港、船会社から
出港前報告情報を抽出して一括処理

DMFの対象船舶に対して、コンテナ詰め貨物のMFR登録が一件でもあると、DMFによる一括処理はできません。
空コンテナと在来貨物は出港前報告対象外で一括処理できません。空コンテナまたは在来貨物がある場合は、
DMF前にMFR登録しておく必要があります。



出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録(MFI)

AMRで下記項目が入力されていることを条件に、MFI業務で出港前報告情報から一括して積荷目録情報登録できます。

出港前報告 AMR

①荷渡形態コード、②バンニング形態コード ③コンテナ条約適用識別
積込港単位でMFIする場合はコンテナオペレーション会社の入力が必要です。

共通部 繰返部

船舶* JNACS718 - 船舶国籍 運航船会社 航海番* W101 船会社* SAOA 船積港* KRPUS -

B/L番号* SAOA12345671234

出港日時* 2017/02/18 - 17:00 グリニッジ標準時差分* +0800 緩和措置対象地域

マスター識別 M 通知先 1 2 3

船卸港* JPTYO - 入港予定日* 2017/02/18

CY

AMR任意項目でMFR必須項目
CY(コンテナオペレーションコードはMFI業務で指定します。
積込港単位のMFI登録の場合は入力が必要です。

共通部 繰返部

1 コンテナ番号 TEST0123457

シール番号 1 SSSS 2 3 4 5 6

空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP

荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 1 条約識別 1

AMR任意項目でMFR必須項目
①荷渡形態 ②所有形態 ③条約識別
AMR登録で上記3項目が入力されていない場合、
一括処理対象外になります。
※登録状況については後述IAR業務で確認します

積荷目録情報登録一括 MFI

船卸港単位の場合

船舶* JNACS718

航海番号* W101

船会社* SAOA

船積港 -

船卸港 JPTYO -

CY 1ACB4

船積港単位の場合

船舶* JNACS718

航海番号* W101

船会社* SAOA

船積港 KRPUS -

船卸港 -

CY

入力した船舶、航海番号、船会社等から
出港前報告情報を抽出して一括処理

SAS120 積荷目録情報登録結果一覧情報

積荷目録情報登録結果一覧情報 1 / 1

業務コード MFI 内部処理業務コード 1MR

船舶 JNACS718 航海番号 W101 船会社 SAOA 船積港 KRPUS - 7 船卸港 -

処理結果コード	B/L番号	出港日時	グリニッジ	緩和措置
1 00000-0000-0000	SAOA123456722	2014/02/15 - 10:00	+0800	
2 00000-0000-0000	SAOA1234567233	2014/02/15 - 10:00	+0800	
3 00000-0000-0000	SAOA1234567234	2014/02/15 - 10:00	+0800	
4 00000-0000-0000	SAOA123456789F	2014/02/15 - 10:00	+0800	

処理結果コード、0000は正常終了
エラーコードの確認方法は、P7を参照

一括処理で
MFR登録が完了したBL番号

空コンテナと在来貨物は出港前報告対象外で一括処理できません。
空コンテナまたは在来貨物がある場合、別途MFR登録をしてDMF(積荷目録提出)を提出します



出港前報告情報を利用した積荷目録情報登録(MFR11)

積荷目録情報登録呼出 MFR11

B/L 番号 * SA0A123456789

出港前報告
情報

- ・呼出には、船会社との受委託が必要です。
- ・バラ貨物や空コンテナについて、AMR(出港前報告)を行いませんので情報を出呼することができません



積荷目録情報登録 MFR

共通部 繰返部

処理区分
船舶 * JNACS509 運航船会社航海番号
航海番号 100 船会社 * SA0A 船卸港 * JPTYO -
入港予定日 2017/10/13 C Y * 1ACG4
B/L 番号 SA0A123456789
船積港 KRPUS
最終仕向地 JPTYO -
荷渡地 -
荷送人 P005A5550000_-
名称
住所
住所 St.1
St.2
City
Country-sub
Postcode Country
電話番号
荷受人
名称 NACCS INTERNATIONAL
住所 AAA

AMR入力任意項目
blankの場合入力が必要

品名 N/M

品目番号
記号番号 NACCS INDIA MADE IN KOREA

個数 100 - CT 総重量 100 - KGM
ネット重量 - 容積 100 - MTQ
原産地 特殊貨物
海上運賃 - 価格 -

共通部 繰返部

1 コンテナ番号 NACS1234501
シール番号 1 100 2
4 5 6
空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 パン形態 4 契約識別 1 対象外識別

AMR入力任意項目
blankの場合入力が必要

出港前報告情報の照会

出港前報告一覧照会 IML

照会区分

船舶

航海番号

船会社

船積港 -

船卸港 -

マスターB/L番号

照会区分 船舶 航海番号 船会社 船積港 - 船卸港 -

1 / 7

B/L番号	貨物識別	貨物差異	マスターB/L番号	出港前報告済	出港日時	ハウス	マスター	船舶情報	報告期限	事前	関連	船卸許可	変更	変更前後
001 DBJD12345670001	0													
002 DBJD12345670002	0													
003 DBJD12345670003	0													

画面クリア(D)
表データの保存(G)
全チェックボックスをチェックする(O)
全チェックボックスのチェックを解除する(N)
フィールド属性表示(F)
業務リンク(L)
オートコンプリート履歴クリア

対象のBL番号を右クリックし、「業務リンク」⇒「IAR(出港前報告照会)」でIAR画面を展開できます。

IAR (出港前報告照会) B/L番号
IAR (出港前報告照会) マスターB/L番号

出港前報告照会 IAR

B/L番号*

マスターB/L照会識別 ☐

共通部 繰返部

B/L番号 次B/L番号*

更新日時 2017/11/08 15:59 更新業務 AMR 更新利用者 1ASB5

出港前報告情報

出港前報告者 1ASB5 - FUNAGASISHA-B5 (TEST)

出港前報告SP

船舶 JNAH999 - NACCS MARU 船舶国籍 JP 運航船会社航海番号

航海番号 1234W 船会社 SAPA

出港前報告日時 2017/11/08 15:59 貨物識別 0 貨物差異 ☐ 事前通知 ☐ 関連B/L事前通知 ☐

マスターB/L番号 マスター識別 ☐ ハウスB/L報告完了 ☐

通知先 1 2 3

出港予定日時 2017/10/19 15:00 グリニッジ標準時差分(予定) +0800 緩和措置対象地域(予定) ☐

船積港 KRPUS - PUSAN 船卸港 JPTYO - 入港予定日 2017/11/19 CY 1ACB4

共通部 繰返部

1 コンテナ番号 NACC1324002

シール番号 1 AA 2 3

4 5 6

空/実識別 5 サイズ 20 タイプ GP

荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 1 条約識別 1 対象外識別 ☐

CY業種での照会はできません。
船舶代理店が照会する場合、対象船卸港で
船会社との受委託関係が必要です。



積荷目録情報登録 MFR

前航海の積荷目録情報が存在する場合に、船卸港に枝番を付けて登録する

船卸登録するCYの利用者コードを入力

B/L番号を31桁で入力(最大35桁迄)
1～4桁目: 船会社コード
5～35桁目: オーシャンB/L番号

輸出入者コードまたは名称住所どちらかを入力

船舶代理店業が登録する場合は、事前に当該船会社との受委託登録が必要になります。

3:コンテナ条約適用外のコンテナの場合、卸コンテナリストでの通関対象外になります

PKIで卸コンテナリストを提出しない場合、「A」を入力(DCL01、02で卸コンテナリスト提出する場合に入力)

空コンテナの場合の入力例

共通部は船舶、船会社、船卸港CYのみを入力
仮陸揚げの場合は仮陸揚げ識別の入力も可能

4:空 5実入り

仮陸揚貨物の場合に入力

共通部 繰返部

処理区分
船舶* JNACS509 運航船会社航海番号
航海番号 100 船会社* SADA 船卸港* JPTYO
入港予定日 2017/10/13 CY* 1ACG4
B/L番号 SADA123456789
船積港 KRPUS
最終仕向地 JPTYO
荷渡地
荷送人 名称 P005A5550000_住所
住所 St.1
St.2
City
Country-sub
Postcode Country
電話番号
荷受人 名称 NACCS INTERNATIONAL 住所
住所 St.1
St.2
City
Country-sub
Postcode Country
電話番号

共通部 繰返部

1 コンテナ番号 NACC123450
シール番号 1 NAC01 2 3 4 5 6
空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 4 条約識別 1 対象外識別
2 コンテナ番号 NACC123450
シール番号 1 NAC01 2 3 4 5 6
空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 4 条約識別 1 対象外識別
3 コンテナ番号
シール番号 1 2 3 4 5 6
空/実識別 5 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 4 条約識別 1 対象外識別

(2) 住所 NACCS EXPRESS
住所 St.1
St.2
City
Country-sub
Postcode Country
電話番号
品名 TOYS
品目番号
記号番号 NACCS INDIA MADE IN KOREA
個数 100 - CT 総重量 100 - KGM
ネット重量 100 - MTQ
原産地 特殊貨物
海上運賃
包括保税運送承認番号
仮陸揚識別 仮陸揚事由 仮陸揚期間
運送予定期間
運送具
到着地
他法令 1 2 3 4 5
記事

1 コンテナ番号 NACS1234001
シール番号 1 AA 2 3 4 5 6
空/実識別 4 サイズ 42 タイプ GP
荷渡形態 51 所有形態 1 バン形態 4 条約識別 1 対象外識別

積荷目録情報訂正(積荷目録提出業務前)

実入りコンテナの場合

積荷目録情報訂正呼出 CMF11

船 舶 *	JNACS790
船卸港 *	JPTYO - 1
B / L 番号	SAQA1234567890

コンテナ番号	
1	2
6	7
11	12
16	17

コンテナ番号は入力しない

空コンテナの場合

積荷目録情報訂正呼出 CMF11

船 舶 *	JNACS790
船卸港 *	JPTYO - 1
B / L 番号	

コンテナ番号	
1	2
6	7
11	12

BL番号は入力しない

積荷目録情報訂正 CMF01

共通部	繰返部
処理区分 *	5 (5 : 訂正 1 : 削除)
削除理由コード	
削除理由	

船舶	JNACS790	運航船会社航海番号	
航海番号	100	船会社	DBJD
入港予定日	2017/11/10	CY *	1ACD0
B / L 番号	SAQA1234567890	船卸港	JPTYO - 1
船積港	KRPUS		
最終仕向地	JPTYO - TOKYO - TOKYO		
荷渡地	-		
荷送人	P005A5550000_		
名称	NACCS SYOJI CO., LTD.		
住所	NACCS CENTER AAAA MINATO KU TOKYO TOJ		

削除理由コード「5:その他」の場合入力
英数字のみ入力可 日本語入力できません

処理区分「1:削除」の場合、削除理由コードを必須入力

①船舶 ②船会社 ③船卸港
④CY ⑤BL番号は訂正不可
削除後、MFRで再登録で対応

共通部	繰返部
1 / 20	
1 コンテナ番号	NACC1234501
シール番号	1 100
空/実識別	5
荷渡形態	51
サイズ	42
タイプ	GP
所有形態	1
バン形態	4
条約識別	1
対象外識別	

2 コンテナ番号	
シール番号	1
空/実識別	4
荷渡形態	
サイズ	
タイプ	
所有形態	
バン形態	
条約識別	
対象外識別	

追加のコンテナがある場合に入力

訂正の注意点

- ①B/L番号を追加する場合
MFR業務から入力する。
- ②コンテナ番号を追加、又は一部の実入りコンテナ番号を削除する場合
CMF11業務から、登録されている内容を出し→CMF01業務「5:訂正」で行う。
- ③B/L番号の削除、コンテナ番号の削除をする場合
CMF01業務「1:削除」で行う。
空コンテナ番号を誤った場合の訂正は、CMF01業務で削除を行った後、MFR業務から行う。

船会社・船舶代理店

積荷目録提出
DMF



原則、入港する
24時間前迄に提出

船 舶*	JNACS999	MFR業務の登録で船卸港に枝番を付けた場合、同じ枝番を入力
提 出 港*	JPTYO -	
船 会 社	DBJD	船舶代理店が登録する場合入力必須 入力した利用船会社毎に提出処理
共同運航識別	☐ (J : 共同運航)	
入 港 日*	2017/11/02	PKI後、登録した入港年月日で 貨物情報の入港日を更新します
書類提出先	☐	
記事		

税関(監視部門)



積荷目録
提出情報



コンテナヤード

MFR業務で
入力したCY

積荷目録提出情報(SAS011)

積荷目録提出情報	
提出者	DBJD
船舶	JNACS999 - NAC TEST
提出港	JPTYO -
共同運航識別	
入港年月日	2017/10/27
入力者	1ADD5
記事	



積荷目録提出後に入港日が変更になった場合は、到着確認登録(PID)業務を利用して、システムに登録済みの積荷目録情報のうち、入港年月日のみを本船(船舶コード、船卸港コード及び船卸港枝番)単位に一括して訂正を行います。
DMFで入力した入港日から14日(日祝除く)を経過すると、情報が削除されPKI(船卸確認登録(一括))処理ができなくなります。



出港前報告不一致通知と事前通知

出港前報告をせずにMFR登録されている貨物がある場合、DMF(積荷目録提出)後に不一致通知が出力されます。

SAS108 出港前報告不一致情報 (民間)

Discrepancy Information of Advance Filing							
Vessel	JNAH999	Voyage Number	1234W	Carrier	DBJD	Port of Loading	-
Date of Departure	-	Difference from GMT	-	Relaxed Application Area	Overflow		
Port of Discharge	JPTYO	Date of Arrival	2017/10/19				
				Discrepancy Identifier			
B/L Number	No HouseB/L	No MasterB/L	Discrepancy in Vessel Information	Overdue Reporting	Incomplete Advance Filing	Incomplete Departure Time Registration	
1 DBJD12345670001					A	D	
2 DBJD12345670002						D	
3 DBJD12345670003						D	
4 DBJD12345670004						D	

A:AMR(出港前報告) 未済
D:ATD(出港日時報告) 未済

不一致通知対象BL

DMF後の不一致通知では出力対象外項目

SAS111 リスク分析結果事前通知情報

税関の事前通知がされると、AMR,DMF業務登録者にリスク分析結果通知が出力されます。



船会社、代理店、通知先

Advance Notice of Risk Assessment Result (SPD)	
B/L Number	DBJD12345670002
Master B/L Number	
Notification Code	SPD
Subject: *TEST* REQUIRE THE ADVANCE NOTICE FOR CARGO DISCHARGE PERMISSION (AMR IS OVERDUE)	
Jurisdictional Customs Office	
Vessel	JNACS718
Voyage Number	W101
Date of Advance Cargo Information	2014/01/22
Date of Departure	2014/01/18 - 19:00
Details of Notifications (Directions)	
THE FILER IS REQUIRED TO APPLY FOR CARGO DISCHARGE PERMISSION TO JAPAN CUSTOMS AS THE CARGO INFORMATION (OCEAN (MASTER) B/L) WAS FILED AFTER THE FILING DEADLINE.	

事前通知がされているBL番号に紐づくコンテナはPKI、PKKで船卸登録できません

事前通知(SPD)
SPD: 船積港出港24時間前(緩和措置対象地域の場合には出港前)までに積荷情報の報告がなされなかった

事前通知の解除方法について、税関にご相談ください。



積荷目録情報訂正(積荷目録提出業務後)

実入りコンテナの場合

積荷目録情報訂正呼出 CMF12

船 舶*	JNACS790
船卸港*	JPTYO - 1
B/L 番号	SAOA1234567890
コンテナ番号	
1	
6	
11	
16	

コンテナ番号は入力しない

空コンテナの場合

積荷目録情報訂正呼出 CMF12

船 舶*	JNACS790
船卸港*	JPTYO - 1
B/L 番号	
コンテナ番号	
1	KARA1234011
6	
11	

BL番号は入力しない

積荷目録情報訂正 CMF02

共通部	繰返部
処理区分*	5 (2:追加 5:訂正 1:削除)
訂正理由コード	5
訂正理由	
削除理由コード	
削除理由	
船舶	JNACS790
航海番号	100
入港予定日	2017/11/13
B/L 番号	SAOA1234567890
船積港	KRPUS
最終仕向地	JPTYO - TOKYO - TOKYO
荷渡地	
荷送人	P005A5550000_
名称	NACCS SYOUI CO., LTD.

処理区分「2:追加」「5:訂正」の場合に必須入力

訂正理由コード「5:その他」の場合入力
英数字のみ入力可 日本語入力できません

処理区分「1:削除」の場合に必須入力

削除理由コード「5:その他」の場合入力
英数字のみ入力可 日本語入力できません

①船舶 ②船会社 ③船卸港
④CY ⑤BL番号は訂正不可
CMF02で削除後、CMF02で追加登録

訂正の注意点

- ①B/L番号を追加する場合
CMF02業務「2:追加」で、情報を入力する。
- ②コンテナ番号の追加、又は一部の実入りコンテナ番号を削除する場合
CMF12業務から、登録されている内容を出し→CMF02業務「5:訂正」で行う。
- ③B/L番号の削除、コンテナ番号の削除をする場合
CMF02業務「1:削除」で行う。
空コンテナ番号を誤った場合の訂正は、CMF02業務で削除を行った後、CMF02業務「2:追加」で行う。

訂正後のDMF(積荷目録提出)は
不要です



IMI(積荷目録状況照会)を利用して、積荷目録の提出状況やコンテナの船卸状況を一覧で確認できます。

積荷目録状況照会 IMI

照会区分*

船舶*

船卸港* -

船会社

CY

B/L番号

(照会区分)

A: 概要照会
 B: B/L番号一覧照会
 C: コンテナ番号一覧照会
 D: 積荷目録情報照会
 E: 未船卸コンテナ一覧照会
 F: B/L照会
 G: B/L主要項目一覧照会
 H: コンテナ主要項目一覧照会
 K: B/L番号一覧(仮陸揚)照会
 T: " (包括保税運送) 照会
 R: " (事前通知) 照会
 S: " (出港前報告不一致) 照会

IMIで照会可能な情報

船舶代理店の場合

MFR登録した情報か、受委託登録されている港、船舶に係る情報を照会

CYの場合

MFRで指定されたCYが一致する情報を照会

区分	照会名称	概要
A	概要照会	積荷目録の船会社単位の提出状況及び船卸状況、B/L件数及びコンテナ本数等を照会 また、CY単位の船卸状況、B/L件数及びコンテナ本数等も照会
B	B/L番号一覧照会	当該本船に係るB/L番号の一覧を照会
C	コンテナ番号一覧照会	当該本船に係るコンテナ番号の一覧を照会出力
D	積荷目録情報照会	本船に係る積荷目録情報を継続照会にて全情報を出力
E	未船卸コンテナ一覧照会	船卸しされていないコンテナ番号の一覧を照会
F	B/L照会	指定されたB/L番号に対する積荷目録情報を照会
G	B/L主要項目一覧照会	当該本船に係るB/L番号に対する積荷目録情報の主要項目を照会
H	コンテナ主要項目一覧照会	当該本船に係るコンテナ番号に対する積荷目録情報の主要項目を照会
K	B/L番号一覧(仮陸揚)照会	当該本船に係る仮陸揚であるB/L番号の一覧を照会
T	" (包括保税運送) 照会	当該本船に係る包括保税運送承認番号登録済のB/L番号の一覧を照会
R	" (事前通知) 照会	当該本船に係るリスク分析結果の事前通知が登録されているB/L番号の一覧を照会
S	" (出港前報告不一致) 照会	当該本船に係る出港前報告不一致(出港前報告未済、出港日時報告未済)が登録されているB/L番号の一覧を照会

照会区分A: 概要照会

対象の本船について積荷目録提出状況、船卸状況を確認できます。

先頭となる船会社コードの最新業務で登録した入港日
航海番号を出力

注: DMF、PIDで入力した入港日は出力しません
DMF、PIDで入力した入港日を確認したい場合
照会区分A以外で確認してください。

BMF: 積荷目録提出前
AMF: 積荷目録提出を行っている船会社が存在する
PID: 到着確認が行われている
END: すべての貨物の船卸確認が終了している

照会区分 A 船舶 I070DUMMY - JNACMARU-I006 運航船会社航海番号 K123

航海番号 船卸港 JPTYO - 入港年月日 2025/06/06 状況表示 END

DMF済=Y

船会社	提出済	登録者	提出者	B/L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1 SSSZ	Y	FU700	FU700	459	459	0
2						

全て船卸済=P

CY	船卸済	B/L 件数	コンテナ本数	空コンテナ本数
1 1ACB5		2	2	0
2 1ACB4		5	5	0

照会区分B: BL一覧照会

対象の本船について登録されたBL番号を一覧で確認できます。
予備申告されているか確認もできます

予備申告がされている場合、以下の記号を出力
H: 本申告起動済み
Z: 予備申告(搬入確認登録時本申告自動起動)
U: 予備申告(到着即時本申告自動起動)
G: 予備申告(貨物到着前本申告自動起動)

照会区分 B 船舶 I070DUMMY - JNACMARU-I006 運航船会社航海番号 K123

航海番号 船卸港 JPTYO - 船会社 SSSZ 積荷目録情報登録者 FU700

入港年月日 2025/06/06 積荷目録提出済 Y B/L 件数 459

DMF、PID登録した入港日

P: 船卸済

B/L 番号	CY	仮陸揚・事前通知	船卸済	コンテナ本数	申告状況	出港前報告未済	出港日時報告未済
1 SSSZIMS0700001	1A777		P	1		A	D
2 SSSZIMS0700011	1A777		P	1		A	D
3 SSSZIMS0700021	1A777		P	1		A	D

IMI(積荷目録状況照会)つづき

照会区分C:コンテナ一覧照会

コンテナ毎の船卸状況を確認できます。

照会区分 船舶 運航船会社航海番号

航海番号 船卸港 船会社 積荷目録情報登録者

入港年月日 積荷目録提出済 コンテナ本数

DMF、PID登録した入港日

コンテナ番号	空/実	CY	仮陸揚識別	状況表示
1 TIMS0700001	5	1A777		P
2 TIMS0700011	5	1A777		P

P: 船卸済
U: コンテナ情報不突合

照会区分R:BL一覧(事前通知)

照会区分 船舶 運航船会社航海番号

船卸港 船会社 積荷目録情報登録者 航海番号 入港年月日

事前通知対象のBL番号がない場合E0430が出力されます

事前通知が登録されているBL番号のみ表示されます

コード	内容	処置
E0430	照会対象の番号が存在しない。	1.利用者コードを確認する。 2.船会社コードが入力されている場合は、船会社コードを確認する。 3.コンテナオペレーション会社コードが入力されている場合は、コンテナオペレーション会社コードを確認する。

関連付けされているハウスB/Lにリスク分析結果の事前通知コードが登録されている旨を出力
*: 該当するため船卸不可

事前通知コード SPD DNL 等

A: AMR業務未登録
D: ATD業務未登録

B/L番号

B/L番号	出港前報告未済	出港日時報告未済	事前通知	事前通知識別(ハウス)	船卸許可申請中
001 DBJD12345700005	A	D	SPD	*	
002					

到着確認登録
PID

船会社・船舶代理店

コンテナヤード

MFR業務で
入力したCY



船 舶＊ JNACS589

船卸港＊ JPTYO -

入港日＊ 2011/01/16

MFR業務の登録で船卸港に枝番を付けた場合、同じ枝番を入力

登録した入港年月日でPKI後、貨物情報の入港日を更新します

コンテナヤード

卸コンテナ情報登録
DCL02

起動種別:「U」
(到着時起動)

PIDで起動

税関に卸コンテナリスト提出

通関業者

輸入申告
IDC

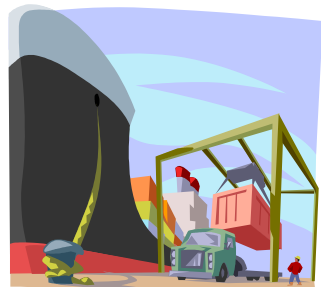
申告条件:「U」
(貨物到着時自動起動)

PIDで起動

税関に輸入申告

PID業務の登録は、船卸確認登録(PKI又はPKK)業務を**行う前**のみ行うことが可能です。
複数回の登録可能です。登録後修正する場合は再度正しい入港日で登録してください。
またPID業務での貨物情報及びコンテナ情報の入港日の反映は、PKI又はPKK業務後になります。





船卸港での貨物船卸し

コンテナヤード



当該船舶の貨物で
先行して船卸登録する
B/L番号、コンテナ番号
の船卸し確認



残りの船卸し
貨物の登録

船卸確認登録(個別) PKK

訂正・取消業務は無いので
送信前に再確認!

開始日時 2011/01/17 - _:_
終了日時 2011/01/17 - _:_
船 船名 JNACS589
船卸港名 JPTYO -  **MFR業務の登録で船卸港に
枝番を付けた場合、同じ枝番
を入力**
船卸場所 1CB04
バース
卸コン併せ表示米 N (Y: 卸コンテナリストの提出を併せて行う場合
N: 卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合)
時間外執務要請識別 ☐ (A: 時間外執務要請届出済
B: 併せ時間外執務要請届)

コンテナ貨物の場合
コンテナ番号を入力

在来貨物の場合
BL番号を入力

コンテナ番号	B/L番号	通知識別	事故 1	2	3	4
1 OLCUT554400						
2						
3						

B/L番号ごと、或いはコンテナ番号ご
との事故通知が可能

船卸確認登録(一括) PKI

1業務でコンテナ番号また
はB/L番号100件まで登録
が可能。

急ぎの貨物で先に船卸しを終えた場合に当業務で登録し、残りをPKI業務で登録する利用方法が主です。**(PKK後のPKIは必須です。)**
またコンテナに事故があった場合、事故通知を入力する場合に利用します。事故通知「Z」を入力した場合、申告等後続業務が進むのを
止めることができます。
開始日時＝船卸場所への搬入日。
卸コンテナリストを併せて提出するには、PKI登録者(CY)が事前に通関免許有の旨をNACCSセンターへ利用申込する必要があります。





船卸港での貨物船卸し

コンテナヤード



当該船舶の貨物
全量船卸し
確認



船卸確認登録(一括) PKI

訂正・取消業務は無いので送信前に再確認!

開始日時*	2017/11/14 - _:_
終了日時*	2017/11/14 - _:_
船 舶*	JNACS787
船卸港*	JPTYO -
船卸場所	1CB04
バース	
卸コン併せ表示*	Y (Y: 卸コンテナリストの提出を併せて行う場合 N: 卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合)
時間外執務要請識別	☐ (A: 時間外執務要請届出済 B: 併(時間外執務要請届)

MFR業務の登録で船卸港に枝番を付けた場合、同じ枝番を入力

開庁時間外に卸コンテナリストの提出をPKI業務で併せて行う場合、必須入力
事前にOSA(時間外執務要請届)またはマニュアルで届出済の場合は「A」を入力

船会社

1	SAOA	2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16								20	

船卸しする貨物の船会社コードを必須入力

卸コン併せ表示「Y」を入力した場合の留意点

積荷目録情報登録 MFR

共通部 繰返部	
1 コンテナ番号	NACS1234702
シール番号	1 NAC1234
4	
5	
空/実識別	5
サイズ	45
タイプ	GP
荷渡形態	51
所有形態	1
バン形態	1
条約識別	3
対象外識別	A

MFR登録で下記いずれかの登録がされたコンテナは卸コンテナリスト提出対象外になります。

- ①条約識別「3」:コンテナ条約適用外
- ②対象外識別「A」:PKIでコンテナリスト提出しない

卸コンテナリストの提出漏れがないか、PKI登録後に出力される卸コンテナ輸入許可通知情報で確認してください。

開始日時=船卸場所への搬入日。

貨物を船卸しする場所がコンテナヤード(CY)の時は、「船卸場所」にCYの保税蔵置場コードを入力します。

またバースに貨物を船卸しする時は、「バース」に当該船卸港にある外航バースを入力します。

卸コンテナリストを併せて提出するには、PKI登録者(CY)が事前に通関免許有の旨をNACCSセンターへ利用申込する必要があります。



【船卸確認登録後の訂正について(事例)】

船卸確認登録(一括) PKI

開始日時*	2017/11/14	-	__:__
終了日時*	2017/11/14	-	__:__
船 舶*	JNACS787	(1)	
船卸港*	JPTYO	-	
船卸場所	1CB04		
バース		(2)	
卸コン併せ表示*	Y	(3)	
時間外執務要請識別	☐	(A : 時間外執務要請 B : 併せ時間外執務)	

船会社			
1	SAQA	2	
6		7	
11		12	
16		17	

(1) 開始日時／終了日時を誤って入力した場合(搬入日時の訂正)

①実入りコンテナ

コンテナヤード(CY)で、SAI11→SAI(輸入貨物情報訂正)でB/L番号ごとに訂正をする。

②空コンテナ

訂正業務が無い為、税関相談の上マニュアルでの対応となります。

(2) コンテナヤード(CY)に船卸しするのを、誤ってバースを入力し登録した場合

コンテナヤード(CY)で、コンテナ番号ごとにCYA(CY搬入確認登録)を行う。

その際に「ポートノート」欄に、『D: 搬入確認をする』を入力する。

※CYAのコンテナ識別「23: 輸入コンテナ」を間違えないように注意してください。

誤って「22: 輸出コンテナ」で入力すると輸入の貨物情報とコンテナ情報との紐づけがなくなり後続業務が行えなくなります。税関で貨物情報・コンテナ情報を削除した上で、新たにシステム外搬入を行うなどの対応が必要になります。

(3) 卸コン併せ表示を、誤って「N: 卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合」で登録した場合

別途、DCL01、02(卸コンテナ情報登録)業務で、卸コンテナリストを提出する。

(4) PID(到着確認登録)業務で入港日を直す前に、誤った入港日でPKI、PKK業務を行ってしまった場合

①実入りコンテナ

コンテナヤード(CY)で、SAI11→SAI(輸入貨物情報訂正)でB/L番号ごとに入港日を訂正をする。

②空コンテナ

訂正業務が無い為、税関相談の上マニュアルでの対応となります。

これらはよくお問い合わせを頂く内容で、PKI業務は複数のコンテナに対して一括処理をするため、複数のコンテナや貨物に対して訂正が必要になります。訂正が起こらないように船卸確認登録を行う時点で、内容をしっかり確認してから登録をすることが重要です。



卸コンテナ事項呼出し DCL11

卸コンテナリスト
提出番号

船 船 JNACS790

船卸港 JPTYO -

船会社 DBJD

C Y 1ACD0

PIDまたはPKI後はDCL11で呼出できません。

卸コンテナ情報登録(事項登録) DCL01

卸コンテナリスト提出番号 訂正の場合入力

船 船* JNACS790 船卸港* JPTYO - 船会社* DBJD

C Y* 1ACD0 バース

コンテナ管理者
DBJD - -

住所

コンテナ番号

1	KARA1234505	2	KARA1234506	3	KARA1234507	4	KARA1234508	5	NACS2234501
6	NACS2234502	7	NACS2234503	8		9		10	

1業務でコンテナ番号1500本まで登録が可能

MFR登録されたコンテナが呼出されます

SAS025 卸コンテナ情報登録入力控情報

卸コンテナ情報登録入力控情報 1 / 1

提出番号 15000156830

船 船 JNACS790 NACCS TEST

船卸港 JPTYO - TOKYO - TOKYO

船会社 DBJD コンテナオペレーション会社 1ACD0 バース

コンテナ管理者 DBJD -

名 称 FUNAGAISHA-KKN(TEST)

住 所 TOKYO TO MINATO KU

(連続)

郵便番号

住所 1 2

3 4

コンテナ本数 7

コンテナ番号

KARA1234505 KARA1234506 KARA1234507 KARA1234508 NACS2234501 NACS2234502

払出された提出番号を利用して訂正や卸コンテナリストの提出します

訂正の場合

卸コンテナ事項呼出し DCL11

卸コンテナリスト 15000156830

提出番号

船 船

船卸港 -

船会社

C Y

当業務はコンテナヤードが通関業の免許を持っていない場合に、通関業者が卸コンテナリストを提出する際に利用します。
また、PKI業務で併せてコンテナリストを提出しなかった場合に利用します。(船舶代理店、CYの場合、事前に通関免許ありの設定が必要)
DCL01業務登録後、卸コンテナリスト提出番号が払い出されます。
DCL02業務で税関に提出前であれば、登録時と同様にDCL11(卸コンテナリスト提出番号のみ入力)→DCL01で内容の訂正も可能です。



卸コンテナリスト提出

通関業者



送信後↓

DCL02送信後、
条件に合致しない時のみ、
「エラー通知情報」が
出力されます



卸コンテナ
輸入許可
通知情報
(SAS021)

卸コンテナ情報登録(リストの提出) DCL02

※DCL02業務も多数件処理です。

卸コンテナリスト提出番号※ 15000057100

DCL01後に出力される卸コンテナ情報
登録入力控情報の提出番号を入力

起 動 種 別※

L

(U : 到着時起動
T : 到着即時における手動起動
L : リスト通関における手動起動)

時間外執務要請識別



(A : 時間外執務要請届出済
B : 併せ時間外執務要請届)

税関閉庁時間帯に卸リストを
提出する場合に入力

起動種別毎の送信タイミング

PID業務と同時に税関へ
卸リストを提出

U: 到着時起動

MFR

DMF

PID

DCL02送信時に税関へ卸リストを提出

T: 到着即時における
手動起動

PKI

L: リスト通関における
手動起動

税関(保稅部門)



卸コンテナリスト
提出情報



SAS023 エラー通知情報(卸コンテナ情報)

エラー通知情報(卸コンテナ情報)

業務コード DCL02 内部業務コード 1DC 卸コンテナリスト提出番号 15000057100

処理結果

E0320-0000-0000

コンテナ番号

NACC1234513

コンテナの条約識別が3:条約適用外の為エラー

SAS021 卸コンテナ輸入許可通知情報

卸コンテナ輸入許可通知書

<IMP>

あて先税関 TOKYO 提出年月日 2017/11/14 卸コンテナリスト提出番号15000057100
船舶コード JNACS790 - NACCS TEST
船舶卸港 JPTYO - 3 - TOKYO - TOKYO
船会社コード DBJD
提出者 1ADD5 - DAIRITEN-D5(TEST)
コンテナ管理者 DBJD
FUNAGAISHA-KKN(TEST)
住所 TOKYO TO MINATO KU

住所
(連続)
郵便番号
住所1
3
4

2

輸入許可されたコンテナ
本数とコンテナ番号

輸入許可年月日 2017/11/14

コンテナ本数 1

東京税関長

コンテナ番号 空 サイズ タイプ 適用 仮
1 NACC1234512 42 GP 1

コンテナヤード



卸コンテナリスト 内容変更通知情報 (SAS029)

※卸コンテナリスト上の
全てのコンテナが取り消
されていない時に出力。

通関業者



卸コンテナリスト 内容変更通知情報 (SAS029)

※卸コンテナリスト上の
全てのコンテナが取り消
されていない時に出力。

卸コンテナ情報変更 DCX

- ・提出済みの卸コンテナリスト提出番号のみを対象
- ・卸コンテナリスト提出日から7日以内のみ業務可能

提出番号* 15000998800

区分	コンテナ番号 (前)	コンテナ番号 (後)	空/実	サイズ	タイプ	条約識別	仮陸
1	5	OLCUT987650	OLCUT876540	5	42	GP	1
2	1	OLCUT123456					
3							
4							
5							
6							
7							

5: コンテナ番号、内容の変更
1: コンテナ番号の削除

当業務は「卸コンテナリスト」の情報を変
更する業務です

税関(保税部門)



卸コンテナリスト 変更情報



船会社・船舶代理店



卸コンテナリスト 内容変更情報 (SAS031)



当業務はあくまでも「卸コンテナリスト」上のコンテナについての変更及びコンテナ番号の削除となるため、船卸し後の貨物情報のコンテナにおける変更やコンテナ番号の削除はされません。
別途、輸入貨物情報の訂正 (SAI11→SAI業務) が必要になりますので、ご注意ください。



CY・保税蔵置場

記号番号の
タイプミス！



輸入貨物情報訂正

呼出し：SAI11

B / L 番号＊ OTH03216549870

輸入貨物情報訂正

登録：SAI

呼び出した貨物情報から
訂正箇所を上書き訂正

共通部 繰返部

B / L 番号＊ OTH03216549870

訂正理由＊ 6

保税運送承認番号 1000000

搬入日時 2011/01/21 - __: __

船舶 9999 - ARITA MARU

船卸港 JPTYO 入港日＊ 2011/01/10 船積港 USLAX

最終仕向地 JPKUF - KOFU

荷送人 -

名称 NACCS U. S. A. COMPANY

住所 123 GATE ROAD, VEGAS CITY, LOS ANGELES, U. S. A.

「訂正理由」を選択
※1～5に該当しなければ、
6(その他の理由)を入力

共通部 繰返部

1 /10

01 コンテナ番号 OLCUT98765

シール番号 1 100 2 3 4 5 6

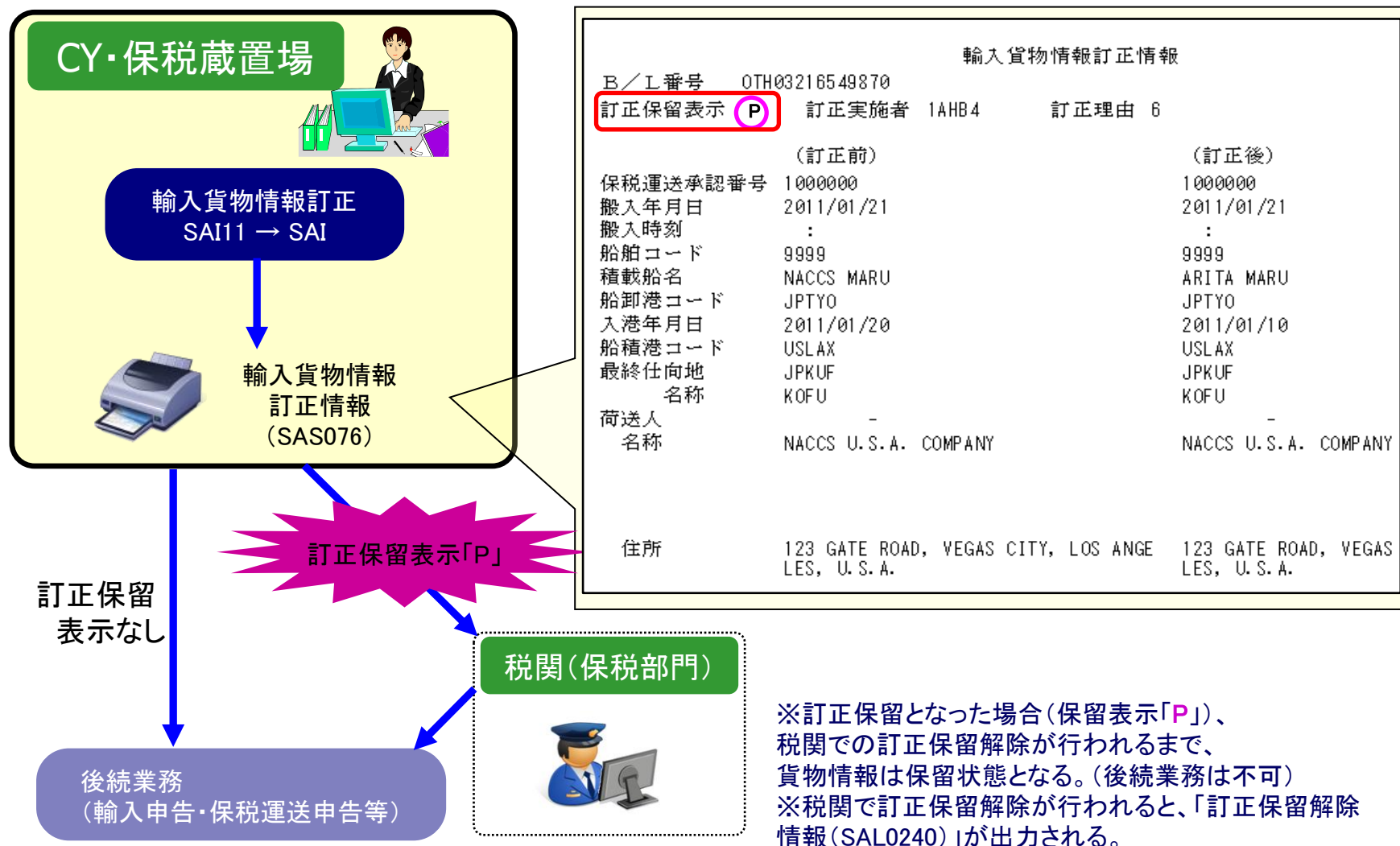
サイズ 42 タイプ GP 荷渡形態 51 所有形態 1 パン形態 4 条約識別 1

02 コンテナ番号

シール番号 1 2 3 4 5 6

サイズ タイプ 荷渡形態 所有形態 パン形態 条約識別

訂正可能項目・不可項目については、
業務仕様書、「1.業務概要」を参照



コンテナヤード

コンテナが搬出可能になると下記帳票が出力されます

SAS037 保税運送承認通知情報(1欄用)

保税運送承認貨物情報

あて先税関 TOKYO 申告番号 15000157420 申告年月日 2017/11/13

申告者 1ATC5 - - TSUKAN-C5(TEST)

住所 TOKYO TO MINATO KU

入力者 1ATC5 - TSUKAN-C5(TEST)

運送目的 SHI - 荷主指定蔵置場へ搬入 自他社識別 - 運送具 31 - TRUCK

運送地 1ADA0 運送種別 NR - 一般運送

到着地 1AWW - * - AA 申告欄数 1 コンテナ本数 1

記事1

< 1 > 貨物管理番号 OTH0001AAI 保工製品識別 []

最初輸入経年入年月日

品名 AA

記号番号 AA

品目番号 3215 原産地又は製造地 CN - CHINA 積出地 KRPUS - PUSAN

積載船名 9999 - AAA 入港年月日 2017/07/13

輸入者 P005A5550000 - NACCS SYOUI CO., LTD.

他法令 20 - CT 価格 JPY - 20.000 - KGM 200 容積 20.000 - MTQ

個数 20 - CT 重量 20.000 - KGM 200 容積 20.000 - MTQ

送地リマーク

記事2

承認年月日 2017/11/13 運送期間 2017/11/13 から 2017/11/19 まで

コンテナ番号 申告欄番号 シール番号

001 NAC12345019 1 111

保税運送承認の場合

SAD431 許可・承認貨物(輸入)情報

<SEA/IMP> 許可・承認貨物(輸入)情報 IM

申告等番号 110 0011 2200 許可・承認年月日 2017/11/13 本船扱い承認年月日

積載船(機)名 9999 AAA 入港年月日 2017/07/13

蔵置場コード 1ADA0 CY-D00

B/L番号 OTH0001AAC 一括申告 []

記号番号 AA

貨物個数 20CT 貨物重量(グロス) 20KGM 貨物容積 20MTQ

輸入者 8634567890123-0000 NACCS SYOUI CO., LTD.

税関事務官理人 - -

申告者 1ATC5

記事(税関)

記事(通関)

社内整理番号

仕入番番号

品名(代表) INK FOR PRINTING OR DUPLICATING N.E.S.

蔵入先 1HE05 ZOUCHE-E05

運送承認期間 2017/11/13 ~ 2017/11/19

コンテナ本数 1本

(1) NAC12345013 (2) (3) (4)

(5) (6) (7) (8)

搬入先、運送先期間が出力される、併せ運送付通知については、CYO不要
設定蔵置場でも搬出が必要

輸入申告許可の場合

SAA047 許可・承認等登録通知情報(監視)

許可・承認等登録通知情報(監視)

許可・承認等種別コード SEN

許可・承認等年月日 2017/11/13

許可・承認等番号 999999999999

貨物管理番号 NAC10000000012

申告・申請・届出者コード

蔵置場所コード(保税地域)

船舶港コード

到着地コード

蔵置場所コード(船舶場所)

SEN:船用品積込承認

船用品積込承認の場合

CY搬出確認登録 CYO

処理区分※ 9 (9 : 搬出確認 1 : 搬出取消し)

搬出日時 2017/11/13 - _ : _

搬入先

コンテナ番号※ NACS1234001

搬出区分 (E : 同一保税地域内運送 K : 検査による搬出)

搬出区分「E」: 同一保税地域内運送の場合、運送先の入力必須

大型X線検査、検査場検査、見本確認の場合、通関蔵置場に検査指定票が出力され、CYO「K:検査による搬出」が可能になります。

SAD490 検査指定情報(倉主等用/運送あり/輸入)

<SEA/IMP> 検査指定票(倉主等用) 2017/11/13 10:21

大型X線検査

申告等番号 123456701345 申告区分 申告種別 LC 申告条件 申告者 6ANAC 書類提出先 1A

貨物番号 OTH01234567

蔵置場所 1HE05 蔵置税関 - 検査立会者

貨物個数 1,000 CT 貨物重量(グロス) 3,000 KGM 貨物容積 40 MTQ

積載船(機)名 NACCS MARU

品名 TOYS

輸入者 - NACCS SHOUJI

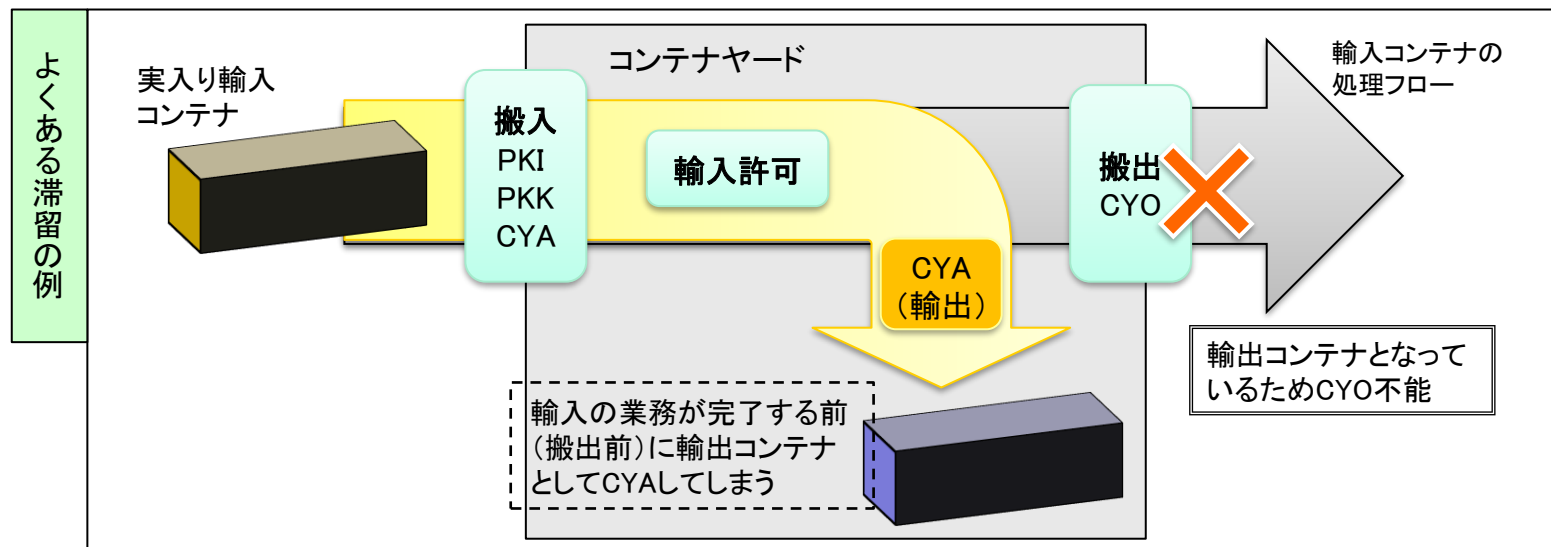
予備申告の場合、通関業者に検査指定票(運搬・倉主等用)が予備申告時に出力されます。蔵置場に配信される検査指定票は本申告時に出力されます。通関業者によっては貨物搬入前にも関わらず検査指定情報をFAXする場合がありますので注意が必要です。

搬出区分:Eの選択は、発送地と同一保税地域へ向けての搬出であり、保税運送承認は不要です。発送元と発送先が同一保税地域内であることの事前設定を要しますので、手続きについては最寄りの税関にご確認ください。



1. 概要

卸コンテナリスト提出後は、輸入コンテナは輸出コンテナとしてCYO可能です。輸入コンテナとしてCYOされる前に、輸出コンテナとしてCYAされた場合、輸入コンテナとしてCYOすることができなくなり、貨物情報は搬出処理未完了のため滞留します。これを回避するためCYOせずとも、輸入許可日から一週間程で貨物情報を自動的に削除する設定があり、これを「CYO不要設定」と呼んでいます。



2. 貨物情報の削除

CYO不要設定にした場合、以下の期間経過後に情報は削除されます。

貨物情報

輸入許可後、日祝除く14日

コンテナ情報

コンテナリスト提出または搬入後30日

3. 設定後もCYOが必要なコンテナ

CYOが不要なのは輸入許可となったコンテナだけです。それ以外の以下のような理由で搬出する場合は従来どおりCYOが必要です。

- ① 保税運送による搬出(同一保税地域内の運送を含む)
- ② 仮陸揚げコンテナを転送するための搬出
- ③ 税関検査による搬出
- ④ IS・IM 承認貨物(併せ運送有り)を転送するための搬出
- ⑤ 外貨船用品承認貨物の搬出

ゲート管理をシステム化しているCYでは、CYO不要設定すると、フリータイムの計算等に影響が出る場合があります。事前にシステムの管理者にご確認の上、申込してください。

コンテナの内航船フィーダー 運送を登録する業務

内航船フィーダー運送の業務フロー

内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録を行います。

積地CY

内航船フィーダー
運送積込登録
CYL



搬出



内航船

搬入

揚地CY

内航船フィーダー
運送陸揚呼出し
CYU11

内航船フィーダー
運送陸揚登録
CYU



従来通りCYO/CYA業務でコンテナ単位の搬出入登録も可能です。また、以下のパターンでも業務実施可能です。

- ① 積地:CYO業務で搬出→揚地:CYU業務で搬入
- ② 積地:CYL業務で搬出→揚地:CYA業務で搬入

※①の場合CYU11による呼出しは実施不可なので、コンテナ番号の入力が必要になります。



積地CY

1
2
3
4
5

揚地CY

揚地CY

内航船フィーダー運送陸揚呼出し CYU11

内航船船舶* -

内航船航海番号*

入港年月日* / /

陸揚日時* / - :

輸入コンテナ陸揚一括処理

Y: 一括処理を行う

「Y」を入力
した場合

内航船単位に一括で内部処理
※CYに陸揚(搬入)した旨を登録

ブランクの
場合

CYU業務を呼出し

内航船船舶* -

内航船航海番号*

入港年月日* / /

陸揚日時* / - :

1 / 1200

処理 番号	コンテナ番号	外航船積載予定船舶	外航船航海番号
1			
2			
3			
4			

※次ページ参照

- ・ 輸入コンテナ陸揚一括処理が入力されていない場合「内航船フィーダー運送陸揚登録(CYU)」業務に先立ち、「内航船フィーダー運送積込登録(CYL)」業務で入力者のCYを揚地として登録されたコンテナ番号を内航船単位に呼出します。
- ・ 輸入コンテナ陸揚一括処理に「Y」が入力されている場合CYL業務で登録された輸入コンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナ番号を呼び出すことなく、内航船単位に一括で内部処理を行い、陸揚(搬入)登録を行います。

揚地CY

内航船フィーダー運送陸揚登録 CYU

内航船船舶* -
内航船航海番号*
入港年月日* / /
陸揚日時* / - :

14 / 1200

	処理 識別	コンテナ 番号	外航船積載予定船舶	外航船航海番号
1				
2				
3				
4				

陸揚(搬入)しないコンテナ
がある場合は「X」を入力

揚地への陸揚(搬入)完了
後続業務へ進む...

再度コンテナを搬出する場合は
CYO業務、CYL業務

船積みする場合は**CLR業務**

- ・内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+揚地CY)に、入力者のCYを揚地とするコンテナの陸揚(搬入)登録を行う。
- ・従来通り、「コンテナ搬出確認登録(CYO)」業務で搬出確認されたコンテナについても、フィーダー運送により陸揚した旨の登録を可能とする。(CYU11業務による呼出しは不可)